



取扱説明書

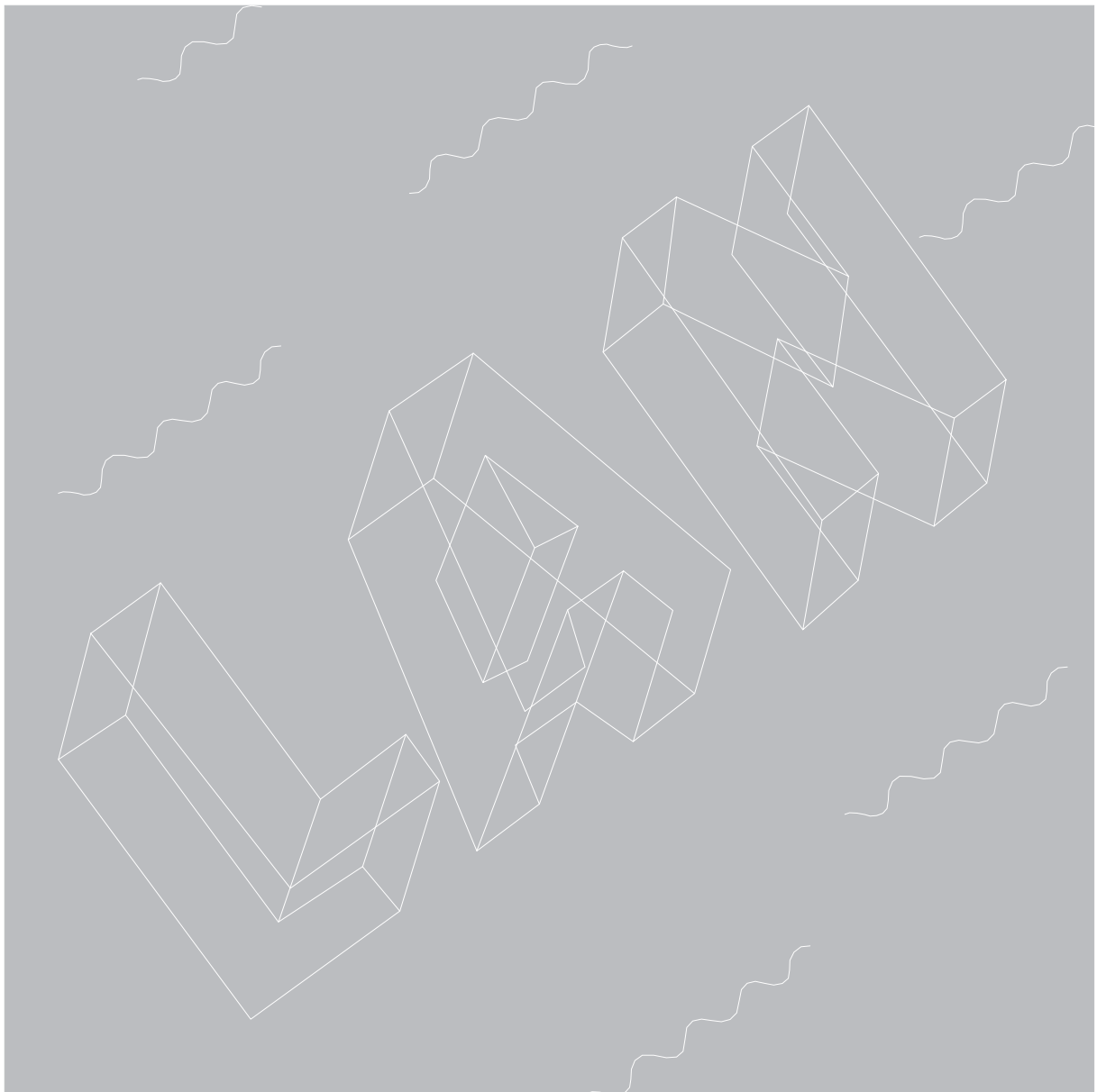
CLI 編

レイヤ2スイッチングハブ

品番 PN26249K/ PN26249

PN26240N

- お買い上げいただき、まことにありがとうございます。
- 説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」（3～5ページ）を必ずお読みください。
- 対象機種名・品番一覧は次ページをご覧ください。
- いかなる場合でも、お客様で本体を分解した場合には、保証対象外となります。



本取扱説明書は、以下の機種を対象としています。


品名	品番	ファームウェアバージョン
Switch-M24GPWR+	PN26249	2.0.0.32 以上
Switch-M24GPWR+	PN26249K	2.0.0.73 以上
Switch-M24sG	PN26240N	2.0.0.63 以上

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を説明しています。

 **注意** 「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。

注意



禁止

- 交流100V以外では使用しない
火災・感電・故障の原因になります。
- ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない
感電・故障の原因になります。
- 雷が発生したときは、この装置や接続ケーブルに触れない
感電の原因になります。
- この装置を分解・改造しない
火災・感電・故障の原因になります。
- 電源コードを傷つけたり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ネジったり、たばねたり、はさみ込んだり、重いものをのせたり、加熱したりしない
電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。
- 開口部やツイストペアポート、コンソールポート、SFP拡張スロットから内部に金属や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落とし込んだりしない
火災・感電・故障の原因になります。
- ツイストペアポートに10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T以外の機器を接続しない
火災・感電・故障の原因になります。

注意



禁止

- SFP拡張スロットに別売のSFPモジュール(PN54021/ PN54021K/PN54023/
PN54023K/PN54025)以外を実装しない
火災・感電・故障の原因となることがあります。
対応するSFP拡張モジュールの最新情報は、ホームページにてご確認ください。
- コンソールポートに別売のコンソールケーブルPN72001 RJ45-Dsub9ピンコ
ンソールケーブル以外を接続しない
火災・感電・故障の原因になります。
- 水のある場所の近く、湿気やほこりの多い場所に設置しない
火災・感電・故障の原因になります。
- 直射日光の当たる場所や温度の高い場所に設置しない
内部温度が上がり、火災の原因になります。
- 振動・衝撃の多い場所や不安定な場所に設置しない
落下して、けが・故障の原因になります。
- この装置を火に入れない
爆発・火災の原因になります。

注意



必ず守る

●故障時は電源プラグを抜く

電源を供給したまま長時間放置すると火災の原因になります。

●必ずアース線を接続する

感電・誤作動・故障の原因になります。

●付属の電源コード（交流100V仕様）を使う

感電・火災・故障の原因になります。

●電源コードを電源ポートにゆるみ等がないよう、確実に接続する

感電や誤動作の原因になります。

●STATUS (ステータス)LED、もしくはTEMP(温度センサ)LED、FAN(ファンセンサ)LEDが橙点滅となった場合は、システム障害のため電源プラグを抜く
電源を供給したまま長時間放置すると火災の原因になります。

●ツイストペアポート、SFP拡張スロット、コンソールポート、電源コード掛けブロックで手などを切らないよう注意の上取り扱う

●IEEE802.3at対応の受電機器をこの装置に接続する場合、CAT5e以上のケーブルを使用する（IEEE802.3at対応機種のみ）
上記以外のケーブルを使用すると、発熱・発火・故障の原因になります。

使用上のご注意

- 内部の点検・修理は販売店にご依頼ください。
 - 商用電源は必ずこの装置の近くで、取り扱いやすい場所からお取りください。
 - この装置の設置・移動する際は、電源コードを外してください。
 - この装置を清掃する際は、電源コードを外してください。
 - 仕様限界をこえると誤動作の原因になりますので、ご注意ください。
 - RJ45コネクタ（ツイストペアポート、コンソールポート）の金属端子やコネクタに接続されたツイストペアケーブルのモジュラプラグに触れたり、帯電したものを近づけたりしないでください。静電気により故障の原因になります。
 - コネクタに接続されたツイストペアケーブルのモジュラプラグをカーペットなどの帯電するものの上や近辺に放置しないでください。静電気により故障の原因になります。
 - 落下などによる強い衝撃を与えないでください。故障の原因になります。
 - コンソールポートにコンソールケーブルを接続する際は、事前にこの装置以外の金属製什器などを触って静電気を除去してください。
 - 以下場所での保管・使用はしないでください。
（仕様の環境条件下にて保管・使用をしてください）
 - 水などの液体がかかるおそれのある場所、湿気が多い場所
 - ほこりの多い場所、静電気障害のおそれのある場所（カーペットの上など）
 - 直射日光が当たる場所
 - 結露するような場所、仕様の環境条件を満たさない高温・低温の場所
 - 振動・衝撃が強い場所
 - 周囲の温度は以下の条件下でお使い下さい。
 - ・ Switch-M24GPWR+
0～40 °C
 - ・ Switch-M24sG
0～50 °C
- 上記条件を満足しない場合は、火災・感電・故障・誤動作の原因となることがあり、保証致しかねますのでご注意ください。
- また、この装置の通風口をふさがないでください。
通風口をふさぐと内部に熱がこもり誤動作の原因になります。
- SFP拡張スロットに別売のSFP拡張モジュール(PN54021/ PN54021K/PN54023/
PN54023K/PN54025)以外を実装した場合、動作保証はいたしませんのでご注意ください。
対応するSFP拡張モジュールの最新情報は、ホームページにてご確認ください。

●この装置を上下に重ねて置かないでください。また、左右に並べておく場合はすき間を20mm以上設けてください。

●ラックマウントする場合は、上下の機器との間隔を20mm以上空けてお使いください

1. お客様の本取扱説明書に従わない操作に起因する損害およびこの装置の故障・誤動作などの要因によって通信の機会を逸したために生じた損害については、弊社はその責任を負いかねますのでご了承ください。
2. 本書に記載した内容は、予告なしに変更することがあります。
3. 万一ご不審な点がございましたら、販売店までご連絡ください。

※本文中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

この装置は、クラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

目次

安全上のご注意	1
使用上のご注意	6
1. コマンドの階層	10
2. 基本情報の表示	14
3. 基本機能設定	15
3.1. 管理情報の設定	15
3.2. IP アドレスの設定	17
3.3. SNMP の設定	19
3.4. ポートの設定	22
3.5. アクセス条件の設定	25
3.6. MAC アドレステーブルの参照	31
3.7. SNTP の設定	33
3.8. ARP の設定	34
3.9. LLDP の設定 (Switch-M24sG を除く)	35
4. 拡張機能設定	38
4.1. VLAN の設定	38
4.2. リンクアグリゲーションの設定	41
4.3. ポートモニタリングの設定	42
4.4. スパニングツリーの設定	43
4.5. アクセスコントロールの設定	48
4.6. QoS(Quality of Service)の設定	52
4.7. 帯域幅制御の設定	54
4.8. IEEE802.1X/MAC ベース認証機能の設定	55
4.9. IGMP Snooping の設定	58
4.10. PoE(給電機能)の設定 (Switch-M24sG を除く)	61
4.11. ストームコントロールの設定	62
4.12. リングプロトコルの設定 (Switch-M24sG を除く)	63
4.13. ポートグループピングの設定(Switch-M24sG を除く)	65
5. 統計情報の表示	65
6. バージョンアップおよび設定ファイルのダウン/アップロードの実行	67
7. 再起動	68
8. 例外処理	69
9. Ping の実行	70
10. システムログの参照	71
11. 設定情報の保存	73
12. 設定情報の参照	74
付録 A. 仕様	75
付録 B. Windows ハイパーターミナルによる コンソールポート 設定手順	76
付録 C. IP アドレス簡単設定機能について	77
付録 D. トラップ一覧	78
故障かな?と思ったら	79

アフターサービスについて 80

configure コマンド

・特権モードからグローバルコンフィグレーションモードに移るコマンドです。

M24GPWR+#……………特権モード

M24GPWR+# configure……………特権モード
⇒グローバルコンフィグレーションモード

M24GPWR+(config)#……………グローバルコンフィグレーションモード

interface コマンド

・グローバルコンフィグレーションモードからインターフェースコンフィグレーションモードに移るコマンドです。

M24GPWR+(config)#……………グローバルコンフィグレーションモード

M24GPWR+(config)# interface vlan1……………グローバルコンフィグレーションモード
⇒インターフェース
コンフィグレーションモード(vlan1)

M24GPWR+(config-if)# exit……………インターフェースコンフィグレーションモード
⇒グローバルコンフィグレーションモード

M24GPWR+(config)# interface gigabitethernet0/1
…グローバルコンフィグレーションモード
⇒インターフェース
コンフィグレーションモード(interface1)

M24GPWR+(config-if)#……………インターフェースコンフィグレーションモード

M24GPWR+(config)#……………グローバルコンフィグレーションモード

exit コマンド

・1つ前のモードに戻ります。

M24GPWR+(config-if)# exit……………インターフェースコンフィグレーションモード
⇒グローバルコンフィグレーションモード

M24GPWR+(config)# exit……………グローバルコンフィグレーションモード
⇒特権モード

M24GPWR+# exit……………特権モード
⇒ユーザモード

M24GPWR+>……………ユーザモード

end コマンド

・コンフィグレーションコマンドから特権モードに移るコマンドです。

M24GPWR+(config-if)# end……………インターフェースコンフィグレーションモード
⇒特権モード

M24GPWR+# config

M24GPWR+(config)# end……………グローバルコンフィグレーションモード
⇒特権モード

? コマンド

- 各モードで ? を入力すると、そのモードで実行可能な項目が表示されます。

```
M24GPWR+# ?
configure  Change mode to Global Configuration mode
copy       To upload config file or download image/config file
disable    Exit from Privileged EXEC mode
exit       To exit from the present mode
logout     To logout from the CLI shell
mode       To display the available modes
ping       To diagnose basic network connectivity
reboot     To reboot system
show       To display running system information

M24GPWR+#
```

図 1-2 ? コマンド

再入力支援

- 上矢印キーを入力すると、直前に入力したコマンドを再表示します。

```
M24GPWR+> enable
M24GPWR+# configure
M24GPWR+(config)# snmp-server location mno
M24GPWR+(config)#
M24GPWR+(config)# snmp-server location mno ..... ↑キーを入力
M24GPWR+(config)#
M24GPWR+(config)#
```

図 1-3 再入力支援コマンド

候補支援コマンド

- コマンド入力後 ? を入力すると、続きのコマンドの候補が表示されます。

```
M24GPWR+> enable
M24GPWR+# configure
M24GPWR+(config)# ip address ?
<ip-address> ex: 192.168.1.1
dhcp          To enable DHCP client
renew         To renew the IP address via DHCP

M24GPWR+(config)# ip address
```

図 1-4 候補支援コマンド

コマンド入力の省略

コマンドおよび引数の入力はそれぞれ一意に識別できる文字までを入力すればその後の文字の入力を省略することができます。

【入力省略例】

- enable → en
- show running-config → sh ru

【省略ができない例】

- co → configure および copy が候補にあるためエラーとなります。

記述中の記号の意味は以下の通りとなります。

- <> : 必須項目 — 必ず入力するようにしてください。
- { | } : 選択肢 — いずれかを選択して入力してください。
- [] : オプション — 必要に応じて入力してください。

2. 基本情報の表示

【特権モード】で【show sys-info】を入力すると図 2-1 のようなこの装置の基本情報を参照することができます。

基本情報参照コマンド

特権モード	show sys-info
-------	---------------

```
M24GPWR+# show sys-info

System up for:          000day(s), 00hr(s), 00min(s), 00sec(s)
Boot / Runtime Code Version: x.x.x.xx / x.x.x.xx
Hardware Information
  Version:              Version1
  CPU Utilization:      xx.xx %
  DRAM / Flash Size:    64MB / 8MB
  DRAM User Area Size:  Free: xxxxxxxx bytes / Total: xxxxxxxx bytes
  System Fan Status:    Good
  System Temperature:   CPU/xx , System/xx degree(s) Celsius
Administration Information
  Switch Name:
  Switch Location:
  Switch Contact:
System Address Information
  MAC Address:          xx:xx:xx:xx:xx:xx
  IP Address:           0.0.0.0
  Subnet Mask:          0.0.0.0
  Default Gateway:     0.0.0.0
  DHCP Mode:           Disabled

M24GPWR+#
```

図 2-1 基本情報参照
(show sys-info)

3. 基本機能設定

3.1. 管理情報の設定

【グローバルコンフィグレーションモード】にて管理者名、設置場所、連絡先を設定します。
設定情報の参照は【特権モード】にて【show sys-info】でご確認ください。

ホスト名設定コマンド

グローバルコンフィグレーションモード	hostname <hostname>
--------------------	---------------------

削除コマンド

グローバルコンフィグレーションモード	no hostname
--------------------	-------------

設置場所設定コマンド

グローバルコンフィグレーションモード	snmp-server location <server location>
--------------------	--

削除コマンド

グローバルコンフィグレーションモード	no snmp-server location
--------------------	-------------------------

連絡先設定コマンド

グローバルコンフィグレーションモード	snmp-server contact <server contact>
--------------------	--------------------------------------

削除コマンド

グローバルコンフィグレーションモード	no snmp-server contact
--------------------	------------------------

基本情報参照コマンド

特権モード	show sys-info
-------	---------------

ご注意: スペースを含んだホスト名を設定する場合は “ ” (ダブルクォーテーション) で
囲んで入力をしてください。
例 : hostname “Switch 1”

ex.ホスト名を SW-1、設置場所を Office-2F、連絡先を Manager とする設定例

```
M24GPWR> enable
M24GPWR+# configure
M24GPWR+(config)# hostname SW-1
SW-1(config)# snmp-server location Office-2F
SW-1(config)# snmp-server contact Manager
SW-1(config)# end
SW-1# show sys-info

System up for           : 000day(s), 00hr(s), 00min(s), 00sec(s)
Boot / Runtime Code Version: x.x.x.xx / x.x.x.xx
Hardware Information
  Version                : Version1
  CPU Utilization        : xx.xx %
  DRAM / Flash Size      : 64MB / 8MB
  DRAM User Area Size    : Free: xxxxxxxx bytes / Total: xxxxxxxx bytes
  System Fan Status      : Good
  System Temperature     : CPU/xx , System/xx degree(s) Celsius

Administration Information
  Switch Name            : SW-1
  Switch Location        : Office-2F
  Switch Contact         : Manager

System Address Information
  MAC Address            : xx:xx:xx:xx:xx:xx
  IP Address              : 192.168.1.1
  Subnet Mask             : 255.255.255.0
  Default Gateway        : 0.0.0.0
  DHCP Mode              : Disabled

More .....To stop press (n)
```

図 3-1 管理者名、設置場所、連絡先の設定と参照(show sys-info)

3.2. IP アドレスの設定

【インターフェースコンフィグレーションモード】にてこの装置の IP アドレスに関する設定を行います。設定情報の参照は【特権モード】にて【show ip conf】でご確認ください。

IP アドレス設定コマンド

グローバルコンフィグレーションモード	ip address <ip-address> <mask> [<default-gateway>]
--------------------	---

デフォルトゲートウェイ設定コマンド

グローバルコンフィグレーションモード	ip default-gateway <ip-address>
--------------------	---------------------------------

DHCP クライアント設定コマンド

グローバルコンフィグレーションモード	ip address dhcp
--------------------	-----------------

DHCP アドレス再取得コマンド

グローバルコンフィグレーションモード	ip address renew
--------------------	------------------

DHCP クライアント設定無効コマンド

グローバルコンフィグレーションモード	no ip address dhcp
--------------------	--------------------

IP アドレス参照コマンド

特権モード	show ip conf
-------	--------------

ex1. IP アドレス:192.168.1.100、サブネットマスク:255.255.255.0、
デフォルトゲートウェイ：192.168.1.1 の設定例

```
M24GPWR+> enable
M24GPWR+# configure
M24GPWR+(config)# ip address 192.168.1.100 255.255.255.0
M24GPWR+(config)# ip default-gateway 192.168.1.1
M24GPWR+(config)# end
M24GPWR+# show ip conf

MAC Address      : xx:xx:xx:xx:xx:xx
IP Address       : 192.168.1.100
Subnet Mask      : 255.255.255.0
Default Gateway  : 192.168.1.1
DHCP Mode        : Disabled

M24GPWR+#
```

図 3-2 IP アドレス設定と参照
(show ip conf)

ex2. DHCP クライアントの設定例

```
M24GPWR+> enable
M24GPWR+# configure
M24GPWR+(config)# ip address dhcp
M24GPWR+(config)# end
M24GPWR+# show ip conf

MAC Address       : xx:xx:xx:xx:xx:xx
IP Address        : 0.0.0.0
Subnet Mask       : 0.0.0.0
Default Gateway   : 0.0.0.0
DHCP Mode         : Enabled

M24GPWR+#
```

図 3-3 DHCP クライアント設定と IP アドレス設定参照
(show ip conf)

ご注意: この項目を設定しなければSNMP管理機能、Telnet、SSH、日本語WEB管理機能によるリモート接続が使用できませんので必ず設定を行ってください。設定項目が不明な場合はネットワーク管理者にご相談ください。IPアドレスはネットワーク上の他の装置と重複してはいけません。また、この項目にはこの装置を利用するサブネット上の他の装置と同様のサブネットマスクとデフォルトゲートウェイを設定してください。

3.3. SNMP の設定

【グローバルコンフィグレーションモード】にて SNMP エージェントとしての設定を行います。
設定情報の参照は【特権モード】にて【show snmp】でご確認ください。

SNMP 有効コマンド

グローバルコンフィグレーションモード	snmp-server agent
--------------------	-------------------

SNMP 無効コマンド

グローバルコンフィグレーションモード	no snmp-server agent
--------------------	----------------------

SNMP 管理(読み込み専用、読み書き可能設定)コマンド

グローバルコンフィグレーションモード	snmp-server community <index> <community> {RO RW} [<ip>]
--------------------	---

SNMP 管理設定削除コマンド

グローバルコンフィグレーションモード	no snmp-server community <index>
--------------------	----------------------------------

SNMP トラップ(タイプ、IP アドレス、コミュニティ名設定)コマンド

グローバルコンフィグレーションモード	snmp-server host <index> type {v1 v2} <ip> trap <community>
--------------------	--

SNMP トラップ設定削除コマンド

グローバルコンフィグレーションモード	no snmp-server host <index>
--------------------	-----------------------------

SNMP トラップ(authentication failure 設定)コマンド

グローバルコンフィグレーションモード	snmp-server enable traps snmp authentication
--------------------	--

SNMP トラップ(authentication failure 設定)削除コマンド

グローバルコンフィグレーションモード	no snmp-server enable traps snmp authentication
--------------------	---

SNMP トラップ(リンクダウンポート設定)コマンド

グローバルコンフィグレーションモード	snmp-server enable traps linkupdown <1-2 or 1,2,3 or 1,2,3-5>
--------------------	--

SNMP トラップ(リンクダウンポート設定)削除コマンド

グローバルコンフィグレーションモード	no snmp-server enable traps linkupdown <1-2 or 1,2,3 or 1,2,3-5> }
--------------------	---

SNMP トラップ(PoE 給電動作設定)コマンド (Switch-M24sG を除く)

グローバルコンフィグレーションモード	snmp-server enable traps poe
--------------------	------------------------------

SNMP トラップ(PoE 給電動作設定)削除コマンド (Switch-M24sG を除く)

グローバルコンフィグレーションモード	no snmp-server enable traps poe
--------------------	---------------------------------

SNMP トラップ(FAN 異常検知設定)コマンド (Switch-M24sG を除く)

グローバルコンフィグレーションモード	snmp-server enable traps fan-fail
--------------------	-----------------------------------

SNMP トラップ(FAN 異常検知設定)削除コマンド (Switch-M24sG を除く)

グローバルコンフィグレーションモード	no snmp-server enable traps fan-fail
--------------------	--------------------------------------

SNMP トラップ(温度検知)有効コマンド

グローバルコンフィグレーションモード	snmp-server enable traps temperature-control
--------------------	--

SNMP トラップ(温度検知)無効コマンド

グローバルコンフィグレーションモード	no snmp-server enable traps temperature-control
--------------------	---

SNMP トラップ(温度検知)温度設定コマンド

グローバルコンフィグレーションモード	snmp-server enable traps temperature-threshold < temperature >
--------------------	---

SNMP 参照コマンド

特権モード	show snmp
-------	-----------

ex1. SNMP エージェントの設定と SNMP マネージャ、トラップレシーバ、各種トラップの設定例

```
M24GPWR+> enable
M24GPWR+# configure
M24GPWR+(config)# snmp-server agent
M24GPWR+(config)# snmp-server community 1 private rw 192.168.1.200
M24GPWR+(config)# snmp-server community 2 public ro 192.168.1.200
M24GPWR+(config)# snmp-server host 1 type v1 192.168.1.200 trap public
M24GPWR+(config)# snmp-server enable traps snmp authentication
M24GPWR+(config)# snmp-server enable traps linkupdown 1-13
M24GPWR+(config)# snmp-server enable traps poe
M24GPWR+(config)# snmp-server enable traps fan-fail
M24GPWR+(config)# snmp-server enable traps temperature-control
M24GPWR+(config)# snmp-server enable traps temperature-threshold 39
M24GPWR+(config)# end
M24GPWR+#
```

図 3-4 SNMP 設定

```

M24GPWR+# show snmp

SNMP Agent: Enabled

SNMP Manager List:
No.      Status   Privilege   IP Address   Community
-----
 1   Enabled   Read-Write  192.168.1.200  private
 2   Enabled   Read-Only  192.168.1.200  public
 3   Disabled  Read-Only  0.0.0.0
 4   Disabled  Read-Only  0.0.0.0
 5   Disabled  Read-Only  0.0.0.0
 6   Disabled  Read-Only  0.0.0.0
 7   Disabled  Read-Only  0.0.0.0
 8   Disabled  Read-Only  0.0.0.0
 9   Disabled  Read-Only  0.0.0.0
10   Disabled  Read-Only  0.0.0.0

Trap Receiver List:
No.      Status   Type      IP Address   Community
-----
 1   Enabled   v1        192.168.1.200  public
 2   Disabled  v1        0.0.0.0
 3   Disabled  v1        0.0.0.0
 4   Disabled  v1        0.0.0.0
 5   Disabled  v1        0.0.0.0
 6   Disabled  v1        0.0.0.0
 7   Disabled  v1        0.0.0.0
 8   Disabled  v1        0.0.0.0
 9   Disabled  v1        0.0.0.0
10   Disabled  v1        0.0.0.0

Individual Trap
SNMP Authentication Failure : Enabled
Enable Link Up/Down Port    : 1-24
PoE Trap Control            : Enabled
Temperature Trap Control     : Enabled
Temperature Threshold        : 39 degree(s) Celsius
FAN Failure                  : Enabled

M24GPWR+#

```

図 3-5 SNMP 設定参照
(show snmp)

3.4. ポートの設定

【インターフェースコンフィグレーションモード】にて各ポートの状態表示、およびポートの設定を行います。設定情報の参照は、【特権モード】にて【show interface info】でご確認ください。

ポートステータス有効コマンド

インターフェースコンフィグレーションモード	no shutdown
-----------------------	-------------

ポートステータス無効コマンド

インターフェースコンフィグレーションモード	shutdown
-----------------------	----------

ポートモード設定コマンド

インターフェースコンフィグレーションモード	speed-duplex { auto { 10 100}-half { 10 100}-full }
-----------------------	--

フローコントロール有効コマンド

インターフェースコンフィグレーションモード	flow-control
-----------------------	--------------

フローコントロール無効コマンド

インターフェースコンフィグレーションモード	no flow-control
-----------------------	-----------------

ポート名称設定コマンド

インターフェースコンフィグレーションモード	name < string >
-----------------------	-----------------

Auto MDI 有効コマンド

インターフェースコンフィグレーションモード	mdix auto
-----------------------	-----------

Auto MDI 無効コマンド

インターフェースコンフィグレーションモード	no mdix auto
-----------------------	--------------

ジャンボフレーム有効コマンド

インターフェースコンフィグレーションモード	jumbo
-----------------------	-------

ジャンボフレーム無効コマンド

インターフェースコンフィグレーションモード	no jumbo
-----------------------	----------

EAP フレーム転送 有効コマンド

インターフェースコンフィグレーションモード	eap-forward
-----------------------	-------------

EAP フレーム転送 無効コマンド

インターフェースコンフィグレーションモード	no eap-forward
-----------------------	----------------

IEEE802.3az(EEE) 有効コマンド

インターフェースコンフィグレーションモード	line eee
-----------------------	----------

IEEE802.3az(EEE) 無効コマンド

インターフェースコンフィグレーションモード	no line eee
-----------------------	-------------

MNO シリーズ省電力モード設定コマンド

インターフェースコンフィグレーションモード	line power-saving { disable full half }
-----------------------	---

ポート情報参照コマンド

特権モード	show interface info
-------	---------------------

拡張ポート情報参照コマンド

特権モード	show interface name
-------	---------------------

省電力モード情報参照コマンド

特権モード	show line configuration
-------	-------------------------

ex1. ポートの速度設定とフローコントロール設定例

```

M24GPWR> enable
M24GPWR+# configure
M24GPWR+(config)# interface gi0/1
M24GPWR+(config-if)# speed-duplex 100-full
M24GPWR+(config-if)# flow-control
M24GPWR+(config-if)# end
M24GPWR+# show interface info

```

Port	Trunk	Type	Admin	Link	Mode	Jumbo	Flow Ctrl
1	---	1000T	Enabled	Up	100-FDx	Disabled	Enabled
2	---	1000T	Enabled	Down	Auto	Disabled	Disabled
3	---	1000T	Enabled	Down	Auto	Disabled	Disabled
4	---	1000T	Enabled	Down	Auto	Disabled	Disabled
5	---	1000T	Enabled	Down	Auto	Disabled	Disabled
6	---	1000T	Enabled	Down	Auto	Disabled	Disabled
7	---	1000T	Enabled	Down	Auto	Disabled	Disabled
8	---	1000T	Enabled	Down	Auto	Disabled	Disabled
9	---	1000T	Enabled	Down	Auto	Disabled	Disabled
10	---	1000T	Enabled	Down	Auto	Disabled	Disabled
11	---	1000T	Enabled	Down	Auto	Disabled	Disabled
12	---	1000T	Enabled	Down	Auto	Disabled	Disabled
13	---	1000T	Enabled	Down	Auto	Disabled	Disabled
14	---	1000T	Enabled	Down	Auto	Disabled	Disabled
15	---	1000T	Enabled	Down	Auto	Disabled	Disabled
16	---	1000T	Enabled	Down	Auto	Disabled	Disabled
17	---	1000T	Enabled	Down	Auto	Disabled	Disabled
18	---	1000T	Enabled	Down	Auto	Disabled	Disabled
19	---	1000T	Enabled	Down	Auto	Disabled	Disabled
20	---	1000T	Enabled	Down	Auto	Disabled	Disabled

More To stop press (n)

図 3-6 ポート情報参照
(show interface info)

ex2. ポート名称、ジャンボフレーム、EAP パケット設定例

```
M24GPWR+> enable
M24GPWR+# configure
M24GPWR+(config)# interface gi0/1
M24GPWR+(config-if)# name Gi0/1
M24GPWR+(config-if)# jumbo
M24GPWR+(config-if)# eap-forward
M24GPWR+(config-if)# end
M24GPWR+# show interface name
```

Port	Trunk	Type	Link	Port Name	EAP Pkt FW
1	---	1000T	Up	Gi0/1	Enabled
2	---	1000T	Down	Port_2	Disabled
3	---	1000T	Down	Port_3	Disabled
4	---	1000T	Down	Port_4	Disabled
5	---	1000T	Down	Port_5	Disabled
6	---	1000T	Down	Port_6	Disabled
7	---	1000T	Down	Port_7	Disabled
8	---	1000T	Down	Port_8	Disabled
9	---	1000T	Down	Port_9	Disabled
10	---	1000T	Down	Port_10	Disabled
11	---	1000T	Down	Port_11	Disabled
12	---	1000T	Down	Port_12	Disabled
13	---	1000T	Down	Port_13	Disabled
14	---	1000T	Down	Port_14	Disabled
15	---	1000T	Down	Port_15	Disabled
16	---	1000T	Down	Port_16	Disabled
17	---	1000T	Down	Port_17	Disabled
18	---	1000T	Down	Port_18	Disabled
19	---	1000T	Down	Port_19	Disabled

MoreTo stop press (n)

図 3-7 ポート名称参照
(show interface name)

3.5. アクセス条件の設定

【グローバルコンフィグレーションモード】にて設定・管理時にこの装置にアクセスする際の諸設定を行います。

Console タイムアウト設定コマンド

グローバルコンフィグレーションモード	console inactivity-timer <minutes>
--------------------	------------------------------------

Console 設定参照コマンド

特権モード	show console
-------	--------------

Telnet サーバタイムアウト設定コマンド

グローバルコンフィグレーションモード	telnet-server inactivity-timer <minutes>
--------------------	--

Telnet サーバ有効コマンド

グローバルコンフィグレーションモード	telnet-server enable
--------------------	----------------------

Telnet サーバ無効コマンド

グローバルコンフィグレーションモード	no telnet-server enable
--------------------	-------------------------

Telnet アクセス制限設定有効コマンド

グローバルコンフィグレーションモード	telnet-server access-limitation enable
--------------------	--

Telnet アクセス制限設定無効コマンド

グローバルコンフィグレーションモード	no telnet-server access-limitation enable
--------------------	---

Telnet アクセス許可機器設定コマンド

グローバルコンフィグレーションモード	telnet-server <entry> <ip-address> <mask>
--------------------	---

Telnet サーバ設定参照コマンド

特権モード	show telnet-server
-------	--------------------

SSH サーバ有効コマンド

グローバルコンフィグレーションモード	crypto key generate rsa
--------------------	-------------------------

SSH サーバ無効コマンド

グローバルコンフィグレーションモード	crypto key zeroize rsa
--------------------	------------------------

SSH サーバタイムアウト設定コマンド

グローバルコンフィグレーションモード	ip ssh time-out <minutes>
--------------------	---------------------------

SSH サーバ認証タイムアウト設定コマンド

グローバルコンフィグレーションモード	ip ssh authentication-timeout <seconds>
--------------------	---

SSH サーバ認証再試行回数設定コマンド

グローバルコンフィグレーションモード	ip ssh authentication-retries <retries>
--------------------	---

SSH サーバ設定参照コマンド

特権モード	show ip ssh
-------	-------------

Web サーバ有効コマンド

グローバルコンフィグレーションモード	ip http server
--------------------	----------------

Web サーバ無効コマンド

グローバルコンフィグレーションモード	no ip http server
--------------------	-------------------

```
M24GPWR+> enable
M24GPWR+# configure
M24GPWR+(config)# console inactivity-timer 10
M24GPWR+(config)# end
M24GPWR+# show console

Console UI Idle Timeout: 10 Min.

Console
-----
Active

M24GPWR+# configure
M24GPWR+(config)# telnet-server inactivity-timer 10
M24GPWR+(config)# telnet-server 1 192.168.0.100 255.255.255.255
M24GPWR+(config)# telnet-server access-limitation enable
M24GPWR+(config)# end
M24GPWR+# show telnet-server

Telnet UI Idle Timeout: 10 Min.

Telnet Server
-----
Enabled

Telnet Access Limitation :   Enabled

No.      IP Address          Subnet Mask
-----
1      192.168.0.100      255.255.255.255
2      <empty>             <empty>
3      <empty>             <empty>
4      <empty>             <empty>
5      <empty>             <empty>

M24GPWR+#
```

図 3-8 Console、Telnet server の設定情報参照
(show console)
(show telnet-server)

```
M24GPWR> enable
M24GPWR+# configure
M24GPWR+(config)# crypto key generate rsa
M24GPWR+(config)# ip ssh time-out 1
M24GPWR+(config)# ip ssh authentication-timeout 60
M24GPWR+(config)# end
M24GPWR+# show ip ssh

SSH UI Idle Timeout:      1 Min.
SSH Auth. Idle Timeout:  60 Sec.
SSH Auth. Retries Time:   5
SSH Server:              Enabled (SSH)
SSH Server key:          Key exists.

M24GPWR+#
```

図 3-9 SSH server の設定情報参照
(show ip ssh)

```
M24GPWR> enable
M24GPWR+# configure
M24GPWR+(config)# ip http server

Web server is Enabled now

M24GPWR+(config)# end
M24GPWR+# show ip http server

Web Server
-----
Enabled

M24GPWR+#
```

図 3-10 Web server の設定情報参照
(show ip http server)

SNMP 有効コマンド

グローバルコンフィグレーションモード	snmp-server agent
--------------------	-------------------

SNMP 無効コマンド

グローバルコンフィグレーションモード	no snmp-server agent
--------------------	----------------------

ユーザ名、パスワード設定コマンド

グローバルコンフィグレーションモード	username <new username>
--------------------	-------------------------

※ユーザ名の入力後に古いパスワードと新しいパスワード(2回)を入力します。

```
M24GPWR+> enable
M24GPWR+# configure
M24GPWR+(config)# username mno
Enter old password: *****
Enter new password: ***
Enter new password again: ***
M24GPWR+(config)#
```

図 3-11 ユーザ名、パスワードの設定

RADIUS サーバ設定コマンド

グローバルコンフィグレーションモード	radius-server host <index> ip <ip-address> [timeout <sec(s)>][retransmit <retries>] [key <string>]
--------------------	--

RADIUS サーバ設定参照コマンド

特権モード	show radius-server
-------	--------------------

ex.RADIUS サーバの IP アドレス 192.168.1.1、タイムアウト 10(秒)、再送信 3(回)、key が secret の設定例

```
M24GPWR+> enable
M24GPWR+# configure
M24GPWR+(config)# radius-server host 1 ip 192.168.1.1 timeout 10 retransmit 3 ke
y secret
M24GPWR+(config)# end
M24GPWR+# show radius-server
NAS ID: Nas1

Index Server IP Address      Shared Secret      Response Time Max Retransmission
-----
  1  192.168.1.1      secret            10 seconds        3
  2  0.0.0.0           10 seconds        3
  3  0.0.0.0           10 seconds        3
  4  0.0.0.0           10 seconds        3
  5  0.0.0.0           10 seconds        3

M24GPWR+#
```

図 3-12 RADIUS サーバ の設定参照
(show radius-server)

Login Method 設定コマンド (Switch- M24DCPWR/M24X のみ)

グローバルコンフィグレーションモード	login method <index> {Local RADIUS None}
--------------------	--

Login Method 設定参照コマンド (Switch- M24DCPWR/M24X のみ)

特権モード	show login method
-------	-------------------

```
M24GPWR+> enable
M24GPWR+# configure
M24GPWR+(config)# login method 1 radius
M24GPWR+(config)# login method 2 local
M24GPWR+(config)# end
M24GPWR+# show login method

Login Method 1:    RADIUS
Login Method 2:    Local

M24GPWR+#
```

図 3-13 Login Method 設定情報参照
(show login method)

IP アドレス簡単設定機能有効コマンド

グローバルコンフィグレーションモード	ip setup interface
--------------------	--------------------

IP アドレス簡単設定機能無効コマンド

グローバルコンフィグレーションモード	no ip setup interface
--------------------	-----------------------

IP アドレス簡単設定機能参照コマンド

特権モード	show ip setup interface
-------	-------------------------

```
M24GPWR+> enable
M24GPWR+# configure
M24GPWR+(config)# ip setup interface
M24GPWR+(config)# end
M24GPWR+# show ip setup interface

IP Setup Interface
-----
Enabled

M24GPWR+#
```

図 3-14 IP Setup Interface 設定情報参照
(show ip setup interface)

画面表示行数参照コマンド

特権モード	show terminal length
-------	----------------------

画面表示行数設定コマンド

グローバルコンフィグレーションモード	terminal length <LENGTH>
--------------------	--------------------------

ex. Terminal Length を 0 に設定 (画面に表示する行数を無制限に設定)

```
M24GPWR+> enable
M24GPWR+# configure
M24GPWR+(config)# terminal length 0
M24GPWR+(config)# end
M24GPWR+# show terminal length

Terminal Length: none

M24GPWR+#
```

図 3-15 Terminal Length 設定情報参照
(show terminal length)

3.6. MAC アドレステーブルの参照

【グローバルコンフィグレーションモード】にてフォワーディングデータベース(FDB: パケットの転送に必要な MAC アドレスが学習・記録されているリスト)の設定および【特権モード】にて FDB の内容を表示します。また、静的な MAC アドレスの追加・削除を行えます。

エージングタイム設定コマンド

グローバルコンフィグレーションモード	mac-address-table aging-time <seconds>
--------------------	--

FDB エントリー(static)設定コマンド

グローバルコンフィグレーションモード	mac-address-table static <MAC address> <interface> vlan <vlan-id>
--------------------	---

FDB エントリー削除コマンド

グローバルコンフィグレーションモード	no mac-address-table static <MAC address> vlan <vlan-id>
--------------------	--

MAC アドレス自動学習有効コマンド

インターフェース コンフィグレーションモード	mac-learning
---------------------------	--------------

MAC アドレス自動学習無効コマンド

インターフェース コンフィグレーションモード	no mac-learning
---------------------------	-----------------

FDB(static)参照コマンド

特権モード	show mac-address-table static
-------	-------------------------------

FDB(MAC 毎)参照コマンド

特権モード	show mac-address-table mac
-------	----------------------------

FDB(インターフェース毎)参照コマンド

特権モード	show mac-address-table interface <interface>
-------	--

FDB(VLAN 毎)参照コマンド

特権モード	show mac-address-table vlan <vlan-id>
-------	---------------------------------------

FDB(マルチキャスト)参照コマンド

特権モード	show mac-address-table multicast
-------	----------------------------------

MAC アドレス自動学習参照コマンド

特権モード	show mac-address-table mac-learning
-------	-------------------------------------

エージングタイム参照コマンド

特権モード	show mac-address-table aging-time
-------	-----------------------------------

```

M24GPWR+> enable
M24GPWR+# show mac-address-table static

  MAC Address      Port  VLAN ID
  -----
xx:xx:xx:xx:xx:xx  1      1

M24GPWR+# show mac-address-table mac

  MAC Address      Port
  -----
xx:xx:xx:xx:xx:xx  1
xx:xx:xx:xx:xx:xx  CPU

M24GPWR+# show mac-address-table interface gi0/1

  MAC Address      Port
  -----
xx:xx:xx:xx:xx:xx  1

M24GPWR+# show mac-address-table vlan 1

  MAC Address      Port
  -----
xx:xx:xx:xx:xx:xx  1

M24GPWR+# show mac-address-table multicast

VLAN ID  Group MAC address  Group members
-----
M24GPWR+#

```

図 3-15 MAC アドレステーブル参照
 (show mac-address-table static)
 (show mac-address-table mac)
 (show mac-address-table interface <interface>)
 (show mac-address-table vlan <vlan-id>)
 (show mac-address-table multicast)

3.7. SNTP の設定

【グローバルコンフィグレーションモード】にてSNTPによる時刻同期の設定を行います。設定情報の参照は、【特権モード】にて【show sntp】でご確認ください。

時刻設定コマンド

グローバルコンフィグレーションモード	sntp clocktime <date> <time>
--------------------	------------------------------

SNTP サーバ IP アドレス設定コマンド

グローバルコンフィグレーションモード	sntp server <ip-address>
--------------------	--------------------------

SNTP 時間取得間隔設定コマンド

グローバルコンフィグレーションモード	sntp poll-interval <min>
--------------------	--------------------------

SNTP 夏季時間 enable 設定コマンド

グローバルコンフィグレーションモード	sntp daylight-saving
--------------------	----------------------

SNTP 夏季時間 disable 設定コマンド

グローバルコンフィグレーションモード	no sntp daylight-saving
--------------------	-------------------------

SNTP タイムゾーン設定コマンド

グローバルコンフィグレーションモード	sntp timezone [<location> / NULL to see time zones]
--------------------	---

SNTP 設定情報参照コマンド

特権モード	show sntp
-------	-----------

```
M24GPWR> enable
M24GPWR+# configure
M24GPWR+(config)# end
M24GPWR+# show sntp

Time ( HH:MM:SS )      : 00:00:00
Date ( YYYY/MM/DD )   : 0000/00/00    Sunday

SNTP Server IP        : 192.168.1.2
SNTP Polling Interval : 1440 Min
Time Zone              : (GMT+09:00) Osaka, Sapporo, Tokyo
Daylight Saving        : N/A

M24GPWR+#
```

図 3-16 SNTP の設定情報参照
(show sntp)

3.8. ARP の設定

【グローバルコンフィグレーションモード】にて ARP テーブルの参照、および設定を行います。

ARP エージングタイム設定コマンド

グローバルコンフィグレーションモード	arp timeout <value>
--------------------	---------------------

ARP(static)設定コマンド

グローバルコンフィグレーションモード	arp <ip-address> <MAC address>
--------------------	--------------------------------

ARP(MAC 毎)参照コマンド

特権モード	show arp sort MAC
-------	-------------------

ARP(IP 毎)参照コマンド

特権モード	show arp sort IP
-------	------------------

ARP(静的)参照コマンド

特権モード	show arp sort type-static
-------	---------------------------

ARP(動的)参照コマンド

特権モード	show arp sort type-dynamic
-------	----------------------------

```
M24GPWR+> enable
M24GPWR+# show arp sort MAC

Sorting Method : By MAC
ARP Age Timeout : 7200 seconds

Hardware Address      IP Address      Type
-----
00:xx:xx:xx:xx:xx    192.168.1.2    Dynamic

M24GPWR+#
```

図 3-17 ARP テーブルの参照
(show arp sort mac)

3.9. LLDP の設定 (Switch-M24sG を除く)

【グローバルコンフィグレーションモード】または【インターフェースコンフィグレーションモード】にて LLDP の設定を行います。設定情報の参照は、【特権モード】にて【show lldp status】でご確認ください。

LLDP 有効設定コマンド

グローバルコンフィグレーションモード	lldp enable
--------------------	-------------

LLDP 無効設定コマンド

グローバルコンフィグレーションモード	no lldp enable
--------------------	----------------

LLDP 送受信設定コマンド

インターフェース コンフィグレーションモード	lldp admin-status { both rx-only tx-only disable }
---------------------------	--

LLDP 送信 TLV 有効設定コマンド

インターフェース コンフィグレーションモード	lldp tx-tlv { port-desc sys-name sys-desc sys-cap mgmt-addr }
---------------------------	--

LLDP 送信 TLV 無効設定コマンド

インターフェース コンフィグレーションモード	no lldp tx-tlv { port-desc sys-name sys-desc sys-cap mgmt-addr }
---------------------------	---

LLDP 設定参照コマンド

特権モード	show lldp status
-------	------------------

LLDP Neighbor テーブル参照コマンド

特権モード	show lldp neighbors
-------	---------------------

LLDP エージェント詳細参照コマンド

特権モード	show lldp neighbors detail
-------	----------------------------

```
M24GPWR+> enable
M24GPWR+# show lldp status

LLDP Status : Enabled

Port  Admin Status  Port Desc  Sys Name  Sys Desc  Sys Cap  Mgmt Addr
-----
  1  Both           Disabled  Disabled  Disabled  Disabled  Disabled
  2  Both           Disabled  Disabled  Disabled  Disabled  Disabled
  3  Both           Disabled  Disabled  Disabled  Disabled  Disabled
  4  Both           Disabled  Disabled  Disabled  Disabled  Disabled
  5  Both           Disabled  Disabled  Disabled  Disabled  Disabled
  6  Both           Disabled  Disabled  Disabled  Disabled  Disabled
  7  Both           Disabled  Disabled  Disabled  Disabled  Disabled
  8  Both           Disabled  Disabled  Disabled  Disabled  Disabled
  9  Both           Disabled  Disabled  Disabled  Disabled  Disabled
 10  Both           Disabled  Disabled  Disabled  Disabled  Disabled
 11  Both           Disabled  Disabled  Disabled  Disabled  Disabled
 12  Both           Disabled  Disabled  Disabled  Disabled  Disabled
 13  Both           Disabled  Disabled  Disabled  Disabled  Disabled
 14  Both           Disabled  Disabled  Disabled  Disabled  Disabled
 15  Both           Disabled  Disabled  Disabled  Disabled  Disabled
 16  Both           Disabled  Disabled  Disabled  Disabled  Disabled
 17  Both           Disabled  Disabled  Disabled  Disabled  Disabled
 18  Both           Disabled  Disabled  Disabled  Disabled  Disabled
 19  Both           Disabled  Disabled  Disabled  Disabled  Disabled
 20  Both           Disabled  Disabled  Disabled  Disabled  Disabled
 21  Both           Disabled  Disabled  Disabled  Disabled  Disabled
 22  Both           Disabled  Disabled  Disabled  Disabled  Disabled
 23  Both           Disabled  Disabled  Disabled  Disabled  Disabled
 24  Both           Disabled  Disabled  Disabled  Disabled  Disabled

M24GPWR+#
```

図 3-18 LLDP 設定の参照
(show lldp status)

```

M24GPWR+> enable
M24GPWR+# show lldp neighbors

Total Neighbors: 1
  No      Chassis ID          Port ID      Mgmt IP Address  Port
  -----
  1  xx:xx:xx:xx:xx:xx  xx:xx:xx:xx:xx:xx  0.0.0.0          1

M24GPWR+# show lldp neighbors detail

Index          : 1
Local Port     : 1
Discovered Time : 000day(s), 00hr(s), 00min(s), 00sec(s)
Last Update Time : 000day(s), 00hr(s), 00min(s), 00sec(s)
ChassisId      : xx:xx:xx:xx:xx:xx (MAC Address)
PortId         : xx:xx:xx:xx:xx:xx (MAC Address)
System Name    :
System Capability : x / x (Supported / Enabled)
                  (O:Other R:Repeater B:Bridge W:WLAN Access Point
                   r:Router T:Telephone D:DOCSIS cable device S:Station Only)
Port Description :
System Description:

M24GPWR+#

```

図 3-19 LLDP Neighbor テーブル、LLDP エージェント詳細情報の参照
 (show lldp neighbor)
 (show lldp neighbor detail)

4. 拡張機能設定

4.1. VLAN の設定

【グローバルコンフィグレーションモード】または【インターフェースコンフィグレーションモード】にて VLAN の設定を行います。

VLAN 作成設定コマンド

グローバルコンフィグレーションモード	interface vlan<vlan-id>
--------------------	-------------------------

削除コマンド

グローバルコンフィグレーションモード	no interface vlan<vlan-id>
--------------------	----------------------------

インターネットマニション設定コマンド

グローバルコンフィグレーションモード	internet mansion <port-list>
--------------------	------------------------------

インターネットマニション設定無効コマンド

グローバルコンフィグレーションモード	no internet mansion
--------------------	---------------------

GVRP グローバル有効設定コマンド

グローバルコンフィグレーションモード	gvrp
--------------------	------

GVRP グローバル無効設定コマンド

グローバルコンフィグレーションモード	no gvrp
--------------------	---------

VLAN 名設定コマンド

インターフェースコンフィグレーションモード	name <name>
-----------------------	-------------

VLAN メンバー設定コマンド

インターフェースコンフィグレーションモード	member <1-2 or 1,2,3 or 1,2,3-5>
-----------------------	----------------------------------

PVID 設定コマンド

インターフェースコンフィグレーションモード	pvid <vlan-id>
-----------------------	----------------

GVRP forbidden コマンド

インターフェースコンフィグレーションモード	forbidden <1-2 or 1,2,3 or 1,2,3-5>
-----------------------	-------------------------------------

GVRP ポートステータス有効設定コマンド

インターフェースコンフィグレーションモード	gvrp
-----------------------	------

GVRP ポートステータス無効設定コマンド

インターフェースコンフィグレーションモード	no gvrp
-----------------------	---------

フレームタイプ設定コマンド

インターフェースコンフィグレーションモード	frame-type { all tag-only }
-----------------------	-------------------------------

VLAN 設定情報参照コマンド

特権モード	show vlan { all <vlan-id> }
-------	-------------------------------

VLAN ポート設定参照コマンド

特権モード	show vlan-by-port
-------	-------------------

PVID 参照コマンド

特権モード	show vlan port
-------	----------------

ご注意: スペースを含んだVLAN名を設定する場合は “ ” (ダブルクォーテーション) で囲んで入力をしてください。

例 : name “VLAN 1”

```

M24GPWR+# show vlan all

Internet Mansion : Disabled          Uplink :
Total VLANs : 3

VLAN      Name                               Type  Mgmt  Ports
-----
1          Permanent                            UP    Gi1, Gi2, Gi3, Gi4, Gi5
          Gi6, Gi7, Gi8, Gi9, Gi10
          Gi11, Gi12, Gi13, Gi14, Gi15
          Gi16, Gi17, Gi18, Gi19, Gi20
          Gi21, Gi22, Gi23, Gi24

2          Static                                DOWN  Gi4, Gi5, Gi6, Gi7, Gi8

3          Static                                DOWN  Gi9, Gi10, Gi11, Gi12

M24GPWR+# show vlan 1

VLAN ID      : 1
VLAN Name    :
Management Status : UP
Port Members : 1-24
Untagged Ports : 1-24
Dynamic Ports :
Forbidden Ports :

M24GPWR+#

```

図 4-1 VLAN 設定参照
 (show vlan all)
 (show vlan 1)

```
M24GPWR+# show vlan-by-port

Port      VLAN ID
-----
1         1
2         1
3         1
4         1-2
5         1-2
6         1-2
7         1-2
8         1-2
9         1,3
10        1,3
11        1,3
12        1,3
13        1
14        1
15        1
16        1
17        1
18        1
19        1
20        1
21        1
22        1
23        1
24        1

M24GPWR+#
```

図 4-2 ポート VLAN 設定参照
(show vlan-by-port)

4.2. リンクアグリゲーションの設定

【グローバルコンフィグレーションモード】または【インターフェースコンフィグレーションモード】にてリンクアグリゲーションの設定を行います。

リンクアグリゲーション設定コマンド

グローバルコンフィグレーションモード	lacp <LACP-key> <1-2 or 1,2,3 or 1,2,3-5> {Active Passive Manual}
--------------------	---

リンクアグリゲーション設定削除コマンド

グローバルコンフィグレーションモード	no lacp <LACP-key>
--------------------	--------------------

LACP システムプライオリティ設定コマンド

グローバルコンフィグレーションモード	lacp system-priority <priority-value>
--------------------	---------------------------------------

LACP ポートプライオリティ設定コマンド

インターフェースコンフィグレーションモード	lacp port-priority <priority-value>
-----------------------	-------------------------------------

LACP 設定情報参照コマンド

特権モード	show lacp
-------	-----------

LACP キー参照コマンド

特権モード	show lacp [<la-key>]
-------	----------------------

```

M24GPWR+> enable
M24GPWR+# show lacp
System Priority : 1

Key      Mode      Member Port List
-----
 1 Active  1-2

M24GPWR+# show lacp 1

System Priority : 1
System ID      : xx:xx:xx:xx:xx:xx
Key           : 1
Aggregator Pri Attached Port List Standby Port List
-----
 1           1 1
 2           1 2

M24GPWR+#

```

図 4-3 リンクアグリゲーション参照

(show lacp)
(show lacp 1)

4.3. ポートモニタリングの設定

【インターフェースコンフィグレーションモード】にてポートモニタリングの設定を行います。設定情報の参照は、【特権モード】にて【show monitor】でご確認ください。

ポートモニタリング設定コマンド

インターフェースコンフィグレーションモード	port monitor <monitored port> direction {rx tx both}
-----------------------	--

ポートモニタリング設定無効コマンド

インターフェースコンフィグレーションモード	no port monitor
-----------------------	-----------------

モニタリング設定情報参照

特権モード	show monitor
-------	--------------

```
M24GPWR+> enable
M24GPWR+# show monitor

Port monitor status : Enabled
Monitoring direction : Both
Monitoring port      : 1
Monitored port      : 9-10

M24GPWR+#
```

図 4-4 モニタリング設定参照
(show monitor)

4.4. スパニングツリーの設定

【グローバルコンフィグレーションモード】または【インターフェースコンフィグレーションモード】にてスパニングツリーの設定を行います。

「stpCompatible」または「rstp」を選択した場合は「spanning-tree rst」、 「mstp」を選択した場合は「spanning-tree mst」から始まるコマンドで設定を行います。

【spanning-tree rst コマンド】

スパニングツリー有効設定コマンド

グローバルコンフィグレーションモード	spanning-tree rst enable
--------------------	--------------------------

スパニングツリー無効設定コマンド

グローバルコンフィグレーションモード	no spanning-tree rst enable
--------------------	-----------------------------

スパニングツリープライオリティ設定コマンド

グローバルコンフィグレーションモード	spanning-tree rst priority <0x0000-0xF000>
--------------------	--

スパニングツリーversion 選択設定コマンド

グローバルコンフィグレーションモード	spanning-tree rst version {stpCompatible rstp}
--------------------	--

スパニングツリーmax-age 設定コマンド

グローバルコンフィグレーションモード	spanning-tree rst max-age <seconds>
--------------------	-------------------------------------

スパニングツリーhello time 設定コマンド

グローバルコンフィグレーションモード	spanning-tree rst hello-time <seconds>
--------------------	--

スパニングツリーforward-delay 設定コマンド

グローバルコンフィグレーションモード	spanning-tree rst forward-time <seconds>
--------------------	--

スパニングツリーBPDU guard recovery 有効コマンド

グローバルコンフィグレーションモード	spanning-tree rst bpdu-recovery enable
--------------------	--

スパニングツリーBPDU guard recovery 無効コマンド

グローバルコンフィグレーションモード	no spanning-tree rst bpdu-recovery enable
--------------------	---

スパニングツリーBPDU guard recovery 時間設定コマンド

グローバルコンフィグレーションモード	spanning-tree rst bpdu-recovery timer <seconds>
--------------------	---

スパニングツリーポートステータス無効コマンド

インターフェースコンフィグレーションモード	spanning-tree rst shutdown
-----------------------	----------------------------

スパニングツリーポートステータス有効コマンド

インターフェースコンフィグレーションモード	no spanning-tree rst shutdown
-----------------------	-------------------------------

スパニングツリーポートプライオリティ設定コマンド

インターフェースコンフィグレーションモード	spanning-tree rst port-priority <0-240>
-----------------------	---

スパニングツリーコスト設定コマンド

インターフェースコンフィグレーションモード	spanning-tree rst cost <1-200000000>
-----------------------	--------------------------------------

スパニングツリーポート初期化設定コマンド

インターフェースコンフィグレーションモード	spanning-tree rst init-migration
-----------------------	----------------------------------

スパニングツリーegde-port 設定コマンド

インターフェースコンフィグレーションモード	spanning-tree rst edgeport
-----------------------	----------------------------

スパニングツリーpoint-to-point 設定コマンド

インターフェースコンフィグレーションモード	spanning-tree rst point-to-point {forcetrue forcefalse auto}
-----------------------	---

スパニングツリーBPDU guard 有効コマンド

インターフェースコンフィグレーションモード	spanning-tree rst bpdu-guard
-----------------------	------------------------------

スパニングツリーBPDU guard 無効コマンド

インターフェースコンフィグレーションモード	no spanning-tree rst bpdu-guard
-----------------------	---------------------------------

スパニングツリー設定参照コマンド

特権モード	show spanning-tree rst config
-------	-------------------------------

スパニングツリーインターフェース設定参照コマンド

特権モード	show spanning-tree rst interface <port-list>
-------	--

スパニングツリーBPDU guard recovery 設定参照コマンド

特権モード	show spanning-tree rst bpdu-recovery
-------	--------------------------------------

【spanning-tree mst コマンド】

スパニングツリー有効設定コマンド

グローバルコンフィグレーションモード	spanning-tree mst enable
--------------------	--------------------------

スパニングツリー無効設定コマンド

グローバルコンフィグレーションモード	no spanning-tree mst enable
--------------------	-----------------------------

スパニングツリープライオリティ設定コマンド

グローバルコンフィグレーションモード	spanning-tree mst priority <0x0000-0xF000>
--------------------	--

スパニングツリーversion 選択設定コマンド

グローバルコンフィグレーションモード	spanning-tree mst version { stpCompatible rstp mstp }
--------------------	--

スパニングツリーmax-age 設定コマンド

グローバルコンフィグレーションモード	spanning-tree mst max-age <seconds>
--------------------	-------------------------------------

スパニングツリーhello time 設定コマンド

グローバルコンフィグレーションモード	spanning-tree mst hello-time <seconds>
--------------------	--

スパニングツリーforward-delay 設定コマンド

グローバルコンフィグレーションモード	spanning-tree mst forward-time <seconds>
--------------------	--

スパニングツリーBPDU guard recovery 有効コマンド

グローバルコンフィグレーションモード	spanning-tree mst bpdu-recovery enable
--------------------	--

スパニングツリーBPDU guard recovery 無効コマンド

グローバルコンフィグレーションモード	no spanning-tree mst bpdu-recovery enable
--------------------	---

スパニングツリーBPDU guard recovery 時間設定コマンド

グローバルコンフィグレーションモード	spanning-tree mst bpdu-recovery timer <seconds>
--------------------	---

スパニングツリーMST インスタンスプライオリティ設定コマンド

グローバルコンフィグレーションモード	spanning-tree mst <1-64> priority <0x0000-0xF000>
--------------------	---

スパニングツリーMST インスタンスVLAN 設定コマンド

グローバルコンフィグレーションモード	spanning-tree mst <1-64> vlan <vlan-id>
--------------------	---

スパニングツリーMST インスタンスVLAN 削除コマンド

グローバルコンフィグレーションモード	no spanning-tree mst <1-64> vlan <vlan-id>
--------------------	--

スパニングツリー最大ホップ数設定コマンド

グローバルコンフィグレーションモード	spanning-tree mst max-hops <6-40>
--------------------	-----------------------------------

スパニングツリーMST 構成名設定コマンド

グローバルコンフィグレーションモード	spanning-tree mst name <name>
--------------------	-------------------------------

スパニングツリーMST リビジョンレベル設定コマンド

グローバルコンフィグレーションモード	spanning-tree mst revision <0-65535>
--------------------	--------------------------------------

スパニングツリーポートステータス無効コマンド

インターフェースコンフィグレーションモード	spanning-tree mst shutdown
-----------------------	----------------------------

スパニングツリーポートステータス有効コマンド

インターフェースコンフィグレーションモード	no spanning-tree mst shutdown
-----------------------	-------------------------------

スパニングツリーポートプライオリティ設定コマンド

インターフェースコンフィグレーションモード	spanning-tree mst port-priority <0-240>
-----------------------	---

スパニングツリーコスト設定コマンド

インターフェースコンフィグレーションモード	spanning-tree mst cost <1-200000000>
-----------------------	--------------------------------------

スパニングツリーポート初期化設定コマンド

インターフェースコンフィグレーションモード	spanning-tree mst init-migration
-----------------------	----------------------------------

スパニングツリー-edge-port 設定コマンド

インターフェースコンフィグレーションモード	spanning-tree mst edgeport
-----------------------	----------------------------

スパニングツリーpoint-to-point 設定コマンド

インターフェースコンフィグレーションモード	spanning-tree mst point-to-point { forcetrue forcefalse auto }
-----------------------	---

スパニングツリーBPDU guard 有効コマンド

インターフェースコンフィグレーションモード	spanning-tree mst bpdu-guard
-----------------------	------------------------------

スパニングツリーBPDU guard 無効コマンド

インターフェースコンフィグレーションモード	no spanning-tree mst bpdu-guard
-----------------------	---------------------------------

スパニングツリーMST インスタンスポートパスコスト設定コマンド

インターフェースコンフィグレーションモード	spanning-tree mst <1-64> cost <1-200000000>
-----------------------	---

スパニングツリーMST インスタンスポートプライオリティ設定コマンド

インターフェースコンフィグレーションモード	spanning-tree mst <1-64> priority <0-240>
-----------------------	---

スパニングツリーMST インスタンスポートステータス無効コマンド

インターフェースコンフィグレーションモード	spanning-tree mst <1-64> shutdown
-----------------------	-----------------------------------

スパニングツリーMST インスタンスポートステータス有効コマンド

インターフェースコンフィグレーションモード	no spanning-tree mst <1-64> shutdown
-----------------------	--------------------------------------

スパニングツリーMST 設定参照コマンド

特権モード	show spanning-tree mst configuration
-------	--------------------------------------

スパニングツリーMST インスタンス設定参照コマンド

特権モード	show spanning-tree mst <1-64>
-------	-------------------------------

スパニングツリーMST インスタンスポート設定参照コマンド

特権モード	show spanning-tree mst <1-64> interface <port-list>
-------	---

スパニングツリーCIST 設定参照コマンド

特権モード	show spanning-tree mst cist configuration
-------	---

スパニングツリーCIST インターフェース設定参照コマンド

特権モード	show spanning-tree mst cist interface <port-list>
-------	---

スパニングツリーBPDU guard recovery 設定参照コマンド

特権モード	show spanning-tree mst bpdu-recovery
-------	--------------------------------------

```

M24GPWR+> enable
M24GPWR+# show spanning-tree rst config

CIST Root Port:          1          Time Since Topology Change: 0      Sec.
CIST Root Path Cost:    20000       Topology Change Count:      0
CIST Root:              8000 xxxxxxxxxxxx
CIST Regional Root Cost: 0          CIST Bridge ID:            8000 xxxxxxxxxxxx
CIST Regional Root:    8000 xxxxxxxxxxxx CIST Bridge Hello Time:    2      Sec.
CIST Bridge Maximum Age: 20      Sec.
CIST Bridge Forward Delay: 15     Sec.
CIST Hello Time:       2          Sec.
CIST Maximum Age:     20          Sec.
CIST Forward Delay:   15          Sec.
Max Hop Count:        20

M24GPWR+# show spanning-tree rst interface 1
Port      : 1          STP Status   : Enabled
Link      : Up        Trunk        : -
Admin/OperEdge: False/False Admin/OperPtoP: Auto /True
Migration : STP
Port State : Forwarding Port Priority : 128
Port Role  : Root      Port Path Cost: 20000 (A)
Desig. Root : 8000 xxxxxxxxxxxx Desig. Cost : 0
Desig. Bridge : 8000 xxxxxxxxxxxx Desig. Port : 80 05
Regional Root : 8000 xxxxxxxxxxxx Regional Cost : 0
Guard      : Disabled

M24GPWR+#

```

図 4-5 STP 設定情報参照
 (show spanning-tree rst config)
 (show spanning-tree rst interface 1)

```

M24GPWR+> enable
M24GPWR+# show spanning-tree mst configuration

Global MSTP Status: Enabled
Protocol Version      : MSTP
MST Configuration Name : MST1
MST Revision Level    : 0
MST Config Digest     : xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx

Instance VLANs Mapped
-----
1      10

M24GPWR+# show spanning-tree mst 1

MSTI Root Port :0          Time Since Topology Change: 20 Sec.
MSTI Root Cost :0          Topology Change Count      :0
MSTI Regional Root: 8001 xxxxxxxxxxxx MSTI Bridge ID:      8000 xxxxxxxxxxxx

M24GPWR+#

```

図 4-6 STP 設定情報参照
 (show spanning-tree mst configuration)
 (show spanning-tree mst 1)

```

M24GPWR+# show spanning-tree mst cist configuration

CIST Root Port:          1                Time Since Topology Change: 0      Sec.
CIST Root Path Cost:    20000             Topology Change Count:      0
CIST Root:               8000 xxxxxxxxxxxx
CIST Regional Root Cost: 0                CIST Bridge ID:             8000 xxxxxxxxxxxx
CIST Regional Root:     8000 xxxxxxxxxxxx CIST Bridge Hello Time:      2      Sec.
CIST Bridge Maximum Age: 20              Sec.
CIST Bridge Forward Delay: 15            Sec.
CIST Hello Time:        2                Sec.
CIST Maximum Age:       20              Sec.
CIST Forward Delay:     15              Sec.
Max Hop Count:          20

M24GPWR+# show spanning-tree mst cist interface 1
Port          : 1                STP Status      : Enabled
Link          : Up                Trunk           : -
Admin/OperEdge: False/False      Admin/OperPtoP: Auto /True
Migration     : STP
Port State    : Forwarding        Port Priority    : 128
Port Role     : Root              Port Path Cost  : 20000(A)
Desig. Root   : 8000 xxxxxxxxxxxx Desig. Cost     : 0
Desig. Bridge : 8000 xxxxxxxxxxxx Desig. Port     : 80 05
Regional Root : 8000 xxxxxxxxxxxx Regional Cost   : 0
Guard        : Disabled
M24GPWR+#

```

図 4-7 STP 設定情報参照
 (show spanning-tree mst cist configuration)
 (show spanning-tree mst cist interface 1)

4.5. アクセスコントロールの設定

【グローバルコンフィグレーションモード】にてアクセスコントロールの設定を行います。

Classifier 設定コマンド

グローバルコンフィグレーションモード	<pre>accesscontrol classifier <id> [src-mac <MAC>][dst-mac <MAC>] [src-net <ip-mask>][dst-net <ip-mask>] [src-port <layer4-port-list>][dst-port <layer4-port-list>] [vlan-id <vid>] [dot1p-priority <priority>] [dscp <value>] [protocol <pro-num>][icmp-type<0-18>] [TCP-syn-flag{ true/false }]</pre>
--------------------	---

Classifier 削除コマンド

グローバルコンフィグレーションモード	<pre>no accesscontrol classifier <index></pre>
--------------------	--

In Profile 設定コマンド

グローバルコンフィグレーションモード	<pre>accesscontrol inprofile <index> {deny permit { dscp <value> precedence <value> cos <value>}}</pre>
--------------------	--

In Profile 削除コマンド

グローバルコンフィグレーションモード	<pre>no accesscontrol inprofile <index></pre>
--------------------	---

Out Profile 設定コマンド

グローバルコンフィグレーションモード	<pre>accesscontrol outprofile <index> committed-rate <unit> burst-size <volume> {deny permit [dscp <value>]}</pre>
--------------------	--

Out Profile 削除コマンド

グローバルコンフィグレーションモード	<pre>no accesscontrol outprofile <index></pre>
--------------------	--

ポートリスト設定コマンド

グローバルコンフィグレーションモード	<pre>accesscontrol portlist <port-list-index> <1-2 or 1,2,3 or 1,2,3-5></pre>
--------------------	---

ポートリスト削除コマンド

グローバルコンフィグレーションモード	<pre>no accesscontrol portlist</pre>
--------------------	--------------------------------------

ポリシー設定コマンド

グローバルコンフィグレーションモード	<pre>accesscontrol policy <index> portlist <index> classifier <index> policy-sequence <value> inprofile <index> [outprofile <index>]</pre>
--------------------	--

ポリシー有効コマンド

グローバルコンフィグレーションモード	<pre>accesscontrol policy <index> enable</pre>
--------------------	--

ポリシー無効コマンド

グローバルコンフィグレーションモード	<pre>no accesscontrol policy <index> enable</pre>
--------------------	---

ポリシー削除コマンド

グローバルコンフィグレーションモード	<pre>no accesscontrol policy <index></pre>
--------------------	--

Classifier 設定参照コマンド

特権モード	<pre>show accesscontrol classifier { all <classifier-number> }</pre>
-------	--


```

M24GPWR+# show AccessControl classifier all

Classifier Index : 1
Source IP Addr/Mask: Ignore          Dest IP Addr/Mask : Ignore
Source MAC Addr   : 00:00:00:00:00:01 Dest MAC Addr     : 00:00:00:00:00:02
Source L4 Port    : Ignore           Dest L4 Port      : Ignore
DSCP              : Ignore           Protocol          : TCP
VLAN ID           : Ignore           ICMP Type        : Ignore
TCP SYN Flag      : Ignore           802.1p Priority  : Ignore

M24GPWR+#

```

図 4-8 Classifier の設定参照
(show accesscontrol classifier all)

Inprofile 設定参照コマンド

特権モード	show accesscontrol inprofile
-------	------------------------------

Outprofile 設定参照コマンド

特権モード	show accesscontrol outprofile
-------	-------------------------------

```

M24GPWR+# show AccessControl inprofile

In-Profile Action:      Total Entries : 1
Index  Deny/Permit  Policed-DSCP  Policed-Precedence  Policed-CoS
-----
   1    Permit      Ignore      Ignore              5

M24GPWR+# show AccessControl outprofile

Out-Profile Action:      Total Entries : 1
Index  Committed Rate  Burst Size(KB)  Deny/Permit  Policed-DSCP
-----
   1         100         16KB          Permit      Ignore

M24GPWR+#

```

図 4-9 Inprofile、Outprofile 設定参照
 (show accesscontrol inprofile)
 (show accesscontrol outprofile)

ポートリスト設定参照コマンド

特権モード	show accesscontrol portlist
-------	-----------------------------

ポリシー設定参照コマンド

特権モード	show accesscontrol policy { all <policy-number> }
-------	---

ポリシーシーケンス設定参照コマンド

特権モード	show accesscontrol policy-sequence port <port num> sort { policy-index sequence }
-------	---

```
M24GPWR+# show AccessControl portlist

Port List:          Total Entries : 1
Index              Port List
-----
1                  1-24

M24GPWR+# show AccessControl policy 1

Policy Index       : 1 Status: Enabled
Classifier Index   : 1
Source MAC Address : 00:00:00:00:00:01
Destination MAC Address : 00:00:00:00:00:02
802.1P Priority    : Ignore
VLAN ID           : Ignore
Source IP Addr/Mask : Ignore
Destination IP Addr/Mask : Ignore
DSCP              : Ignore
Protocol          : TCP
Source L4 Port     : Ignore
Destination L4 Port : Ignore
TCP SYN Flag      : Ignore
ICMP Type         : Ignore

-----
Policy Sequence   : 1
In-Profile Action : Index=1   Action=Permit, CoS=5
Out-Profile Action : Index=1   Action=Permit
Committed Rate    : 100 Mbps  Burst Size: 16KB
Port List        : Index=1   Port=1-24

M24GPWR+#
```

図 4-10 ポートリスト、ポリシー設定参照
(show accesscontrol portlist)
(show accesscontrol policy 1)

4.6. QoS(Quality of Service)の設定

【グローバルコンフィグレーションモード】にて QoS の設定を行います。基本情報の参照は、【特権モード】にて【show mls qos】で参照してください。

QoS 有効設定コマンド

グローバルコンフィグレーションモード	mls qos
--------------------	---------

QoS 無効設定コマンド

グローバルコンフィグレーションモード	no mls qos
--------------------	------------

QoS スケジューリング方式設定コマンド

グローバルコンフィグレーションモード	qos method {strict wrr}
--------------------	---------------------------

CoS トラフィッククラス マッピング 設定コマンド

グローバルコンフィグレーションモード	priority-queue cos-map <traffic class> <priority>
--------------------	---

WRR トラフィッククラス マッピング 設定コマンド

グローバルコンフィグレーションモード	wrr-queue <traffic class> <weight>
--------------------	------------------------------------

QoS 設定参照コマンド

特権モード	show mls qos
-------	--------------

CoS-トラフィッククラス マッピング 設定参照コマンド

特権モード	show priority-queue cos-map
-------	-----------------------------

QoS スケジューリング方式、Weighted Round Robin-Weight 設定参照コマンド

特権モード	show qos method
-------	-----------------

```

M24GPWR> enable
M24GPWR+# configure
M24GPWR+(config)# mls qos
M24GPWR+(config)# end
M24GPWR+# show mls qos

Quality of Service Status: Enabled

M24GPWR+# show priority-queue cos-map

Priority    Traffic Class
-----
0           0
1           0
2           1
3           1
4           2
5           2
6           3
7           3
0: Lowest
3: Highest

M24GPWR+#

```

図 4-11 QoS 設定参照
(show mls qos)
(show priority-queue cos-map)

```

M24GPWR> enable
M24GPWR# configure
M24GPWR+(config)# qos method wrr
M24GPWR+(config)# wrr-queue 3 100
M24GPWR+(config)# end
M24GPWR# show qos method

Scheduling Method: Weighted Round Robin

Traffic Class      Weight
-----
0                   1
1                   2
2                   3
3                   100
M24GPWR#

```

図 4-12 QoS 設定参照
 (show mls qos)
 (show qos method)

4.7. 帯域幅制御の設定

【インターフェースコンフィグレーションモード】にて帯域幅制御の設定を行います。基本情報の参照は、【特権モード】にて【show egress-rate-limit】で参照してください。

帯域幅制御有効コマンド

インターフェースコンフィグレーションモード	egress-rate-limit
-----------------------	-------------------

帯域幅制御設定コマンド

インターフェースコンフィグレーションモード	egress-rate-limit [<unit(1Mbps/unit)>]
-----------------------	--

帯域幅制御無効コマンド

インターフェースコンフィグレーションモード	no egress-rate-limit
-----------------------	----------------------

帯域幅制御参照コマンド

特権モード	show egress-rate-limit
-------	------------------------

```
M24GPWR+# show egress-rate-limit
```

Port	Bandwidth	Status
1	1000	Disabled
2	1000	Disabled
3	1000	Disabled
4	1000	Disabled
5	1000	Disabled
6	1000	Disabled
7	1000	Disabled
8	1000	Disabled
9	1000	Disabled
10	1000	Disabled
11	1000	Disabled
12	1000	Disabled
13	1000	Disabled
14	1000	Disabled
15	1000	Disabled
16	1000	Disabled
17	1000	Disabled
18	1000	Disabled
19	1000	Disabled
20	1000	Disabled
21	1000	Disabled
22	1000	Disabled
23	1000	Disabled
24	1000	Disabled

```
M24GPWR+#
```

図 4-13 帯域制御設定参照
(show egress-rate-limit)

4.8. IEEE802.1X/MAC ベース認証機能の設定

【グローバルコンフィグレーションモード】と【インターフェースコンフィグレーションモード】にて IEEE802.1X および MAC ベース認証の設定を行います。基本情報の参照は、【特権モード】にて【show dot1x <1-2 or 1,2,3 or 1,2,3-5>】で参照してください。

NAS ID 設定コマンド<Port Based Mode、 MAC Based Mode>

グローバルコンフィグレーションモード	dot1x nas-id <NASID>
--------------------	----------------------

認証動作設定コマンド<Port Based Mode>

インターフェースコンフィグレーションモード	dot1x port-control { auto force-authorized force-unauthorized }
-----------------------	---

定期的再認証有効設定コマンド<Port Based Mode>

インターフェースコンフィグレーションモード	dot1x re-authentication
-----------------------	-------------------------

定期的再認証無効コマンド<Port Based Mode>

インターフェースコンフィグレーションモード	no dot1x re-authentication
-----------------------	----------------------------

再認証取得間隔設定コマンド<Port Based Mode、 MAC Based Mode>

インターフェースコンフィグレーションモード	dot1x timeout re-authperiod <1-65535>
-----------------------	---------------------------------------

クライアントタイムアウト時間設定コマンド<Port Based Mode、 MAC Based Mode>

インターフェースコンフィグレーションモード	dot1x timeout supp-timeout <1-65535>
-----------------------	--------------------------------------

認証サーバタイムアウト時間設定コマンド<Port Based Mode、 MAC Based Mode>

インターフェースコンフィグレーションモード	dot1x timeout server <1-65535>
-----------------------	--------------------------------

認証失敗時待機時間コマンド<Port Based Mode、 MAC Based Mode>

インターフェースコンフィグレーションモード	dot1x timeout quiet-period <1-65535>
-----------------------	--------------------------------------

認証再送信要求間隔設定コマンド<Port Based Mode、 MAC Based Mode>

インターフェースコンフィグレーションモード	dot1x timeout tx-period <1-65535>
-----------------------	-----------------------------------

認証最大再送信試行回数設コマンド<Port Based Mode、 MAC Based Mode>

インターフェースコンフィグレーションモード	dot1x max-req <1-10>
-----------------------	----------------------

再認証状態初期化設定コマンド<Port Based Mode>

インターフェースコンフィグレーションモード	dot1x re-authenticate
-----------------------	-----------------------

認証状態初期設定コマンド<Port Based Mode>

インターフェースコンフィグレーションモード	dot1x init
-----------------------	------------

認証要求時コマンド<Port Based Mode、 MAC Based Mode>

インターフェースコンフィグレーションモード	dot1x control-direction { both in }
-----------------------	---------------------------------------

サブリカント数設定コマンド<Port Based Mode>

インターフェースコンフィグレーションモード	dot1x supplicant-num <1-512>
-----------------------	------------------------------

認証モード切り替えコマンド (Port Based Mode、 MAC Based Mode)

インターフェースコンフィグレーションモード	dot1x port-auth-mode { port-based mac-based }
-----------------------	---

認証状態初期設定コマンド<MAC Based Mode>

インターフェースコンフィグレーションモード	dot1x mac-based init [<MAC address>]
-----------------------	--------------------------------------

再認証状態初期化設定コマンド<MAC Based Mode>

インターフェースコンフィグレーションモード	dot1x mac-based re-authenticate [<MAC address>]
-----------------------	---

定期的再認証有効コマンド<MAC Based Mode>

インターフェースコンフィグレーションモード	dot1x mac-based re-authentication [<MAC address>]
-----------------------	---

定期的再認証無効コマンド<MAC Based Mode>

インターフェースコンフィグレーションモード	no dot1x mac-based re-authentication [<MAC address>]
-----------------------	--

EAP-Request 設定有効コマンド<MAC Based Mode>

インターフェースコンフィグレーションモード	dot1x eap-request
-----------------------	-------------------

EAP-Request 設定無効コマンド<MAC Based Mode>

インターフェースコンフィグレーションモード	no dot1x eap-request
-----------------------	----------------------

Guest Access 設定コマンド

インターフェースコンフィグレーションモード	dot1x guest-vlan <vlan-id>
-----------------------	----------------------------

Default VLAN 設定コマンド

インターフェースコンフィグレーションモード	dot1x default-vlan <vlan-id>
-----------------------	------------------------------

認証 VLAN 設定コマンド<Port Based Mode>

インターフェースコンフィグレーションモード	dot1x dynamic-vlan
-----------------------	--------------------

Guest Access への適用条件設定コマンド<Port Based Mode>

インターフェースコンフィグレーションモード	dot1x guest-access {timeout both auth-fail}
-----------------------	---

Force Authorized MAC Address の設定コマンド

グローバルコンフィグレーションモード	dot1x forceAuthorized MAC <MAC address> mask-bit <mask-len> auth-mode {authorized unauthorized} portlist <1-2 or 1,2,3 or 1,2,3-5>
--------------------	--

認証情報設定参照コマンド<Port Based Mode、MAC Based Mode>

特権モード	show dot1x {port-based <1-2 or 1,2,3 or 1,2,3-5> mac-based <port num>}
-------	--

Force Authorized MAC Address 設定参照コマンド

特権モード	show dot1x forceAuthorized-MAC {all single <MAC address>}
-------	---

Unauthorized MAC Address 一覧参照コマンド

特権モード	show dot1x unauthorized mac-address-table {interface <interface name> mac }
-------	---

Guest Access、Default VLAN 設定参照コマンド

特権モード	show dot1x guest-default-vlan
-------	-------------------------------

IEEE802.1X Statistics 参照コマンド

特権モード	show dot1x statistics <port num> {since-reset since-up}
-------	---


```
M24GPWR+> enable
M24GPWR+# show dot1x port-based 1-2

NAS ID : Nas1

Port No : 1      Authorized MAC Address : --:--:--:--:--:--
Port Status      : Authorized      OperControlDirection : Both
Port Control     : Force Authorized AdminControlDirection : Both
Quiet Period    : 60 seconds      Transmission Period   : 30 seconds
Supplicant Timeout : 30 seconds      Server Timeout        : 30 seconds
Maximum Request  : 2              Re-auth Period        : 3600 seconds
Per Port Re-auth : Disabled        Current PVID          : 1
Dynamic VLAN     : Disabled        Guest VLAN ID         : ----
Default VLAN ID  : ----           Guest Access Mode     : Both

Port No : 2      Authorized MAC Address : --:--:--:--:--:--
Port Status      : Authorized      OperControlDirection : Both
Port Control     : Force Authorized AdminControlDirection : Both
Quiet Period    : 60 seconds      Transmission Period   : 30 seconds
Supplicant Timeout : 30 seconds      Server Timeout        : 30 seconds
Maximum Request  : 2              Re-auth Period        : 3600 seconds
Per Port Re-auth : Disabled        Current PVID          : 1
Dynamic VLAN     : Disabled        Guest VLAN ID         : ----
Default VLAN ID  : ----           Guest Access Mode     : Both

M24GPWR+#
```

図 4-14 IEEE802.1X 認証設定参照
(show dot1x port-based 1-2)

4.9. IGMP Snooping の設定

【グローバルコンフィグレーションモード】と【インターフェースコンフィグレーションモード】にて IGMP Snooping の設定を行います。

IGMP Snooping 有効設定コマンド

グローバルコンフィグレーションモード	ip igmp snooping enable
--------------------	-------------------------

IGMP Snooping 無効設定コマンド

グローバルコンフィグレーションモード	no ip igmp snooping enable
--------------------	----------------------------

IGMP Snooping エージングタイム設定コマンド

グローバルコンフィグレーションモード	ip igmp snooping aging-time {router host} <sec>
--------------------	---

IGMP Snooping 転送間隔設定コマンド

グローバルコンフィグレーションモード	ip igmp snooping report-forward-interval <sec>
--------------------	--

マルチキャストフィルタリング有効コマンド

グローバルコンフィグレーションモード	ip multicast filtering enable
--------------------	-------------------------------

マルチキャストフィルタリング無効コマンド

グローバルコンフィグレーションモード	no ip multicast filtering enable
--------------------	----------------------------------

VLAN フィルタ設定コマンド

グローバルコンフィグレーションモード	ip igmp snooping vlan-filter vlan <vlan-id>
--------------------	---

VLAN フィルタ削除コマンド

グローバルコンフィグレーションモード	no ip igmp snooping vlan-filter vlan <vlan-id>
--------------------	--

IGMP Snooping マルチキャストルーティング設定コマンド

グローバルコンフィグレーションモード	ip igmp snooping mrouter learn {igmp pim-dvmrp both}
--------------------	--

IGMP Snooping マルチキャストインターフェース設定コマンド

グローバルコンフィグレーションモード	ip igmp snooping mrouter interface <interface name>
--------------------	---

IGMP Snooping マルチキャストインターフェース削除コマンド

グローバルコンフィグレーションモード	no ip igmp snooping mrouter interface <interface name>
--------------------	--

IGMP Snooping 静的設定コマンド

グローバルコンフィグレーションモード	ip igmp snooping vlan <vlan-id> static <MAC address> interface <interface name>
--------------------	---

IGMP Snooping 静的設定削除コマンド

グローバルコンフィグレーションモード	no ip igmp snooping vlan <vlan-id> static <MAC address> interface <interface name>
--------------------	--

Leave 送信遅延時間設定コマンド

グローバルコンフィグレーションモード	ip igmp snooping leave-delay-time <value>
--------------------	---

IGMP Snooping Querier 有効設定コマンド

グローバルコンフィグレーションモード	ip igmp snooping querier enable
--------------------	---------------------------------

IGMP Snooping Querier 無効設定コマンド

グローバルコンフィグレーションモード	no ip igmp snooping querier enable
--------------------	------------------------------------

IGMP Query バージョン設定コマンド

グローバルコンフィグレーションモード	ip igmp snooping querier version {1 2}
--------------------	--

IGMP Query 送信間隔設定コマンド

グローバルコンフィグレーションモード	ip igmp snooping querier query-interval <sec>
--------------------	---

IGMP Query 応答時間設定コマンド

グローバルコンフィグレーションモード	ip igmp snooping querier max-response-time <sec>
--------------------	--

IGMP Querier タイムアウト時間設定コマンド

グローバルコンフィグレーションモード	ip igmp snooping querier timer-expiry <sec>
--------------------	---

TCN Query 送信数設定コマンド

グローバルコンフィグレーションモード	ip igmp snooping querier tcn query-count <count>
--------------------	--

TCN Query 送信間隔設定コマンド

グローバルコンフィグレーションモード	ip igmp snooping querier tcn query-interval <sec>
--------------------	---

IGMP Snooping leave 設定コマンド

インターフェースコンフィグレーションモード	ip igmp snooping immediate-leave
-----------------------	----------------------------------

IGMP Snooping leave 設定削除コマンド

インターフェースコンフィグレーションモード	no ip igmp snooping immediate-leave
-----------------------	-------------------------------------

IGMP Snooping 設定参照コマンド

特権モード	show ip igmp snooping conf
-------	----------------------------

IGMP Snooping マルチキャスト設定参照コマンド

特権モード	show ip igmp snooping mrouter
-------	-------------------------------

IGMP Snooping VLAN フィルタテーブル設定参照コマンド

特権モード	show ip igmp snooping vlan-filter-table
-------	---

IGMP Snooping Querier 設定参照コマンド

特権モード	show ip igmp snooping querier
-------	-------------------------------

```

M24GPWR+> enable
M24GPWR+# show ip igmp snooping conf

IGMP Snooping Status      : Enabled
Multicast Filtering Status: Disabled
IGMP Snooping Querier     : Disabled
Host Port Age-Out Time    : 260 sec
Router Port Age-Out Time  : 125 sec
Report Forward Interval    : 5 sec

M24GPWR+# show ip igmp snooping mrouter

Dynamic Detection: PIM and DVMRP

VLAN ID  Port List
-----  -
M24GPWR+#

```

図 4-15 IGMP Snooping 設定の参照
 (show ip igmp snooping conf)
 (show ip igmp snooping mrouter)

```

M24GPWR+> enable
M24GPWR+# show ip igmp snooping querier

Querier Status           : Disabled
Current Role              : Querier
IGMP Version              : Version 2
Query Interval            : 60
Max Response Time         : 10
Querier Timeout           : 120
TCN Query Count           : 2
TCN Query Interval        : 10

TCN Query Pending Count : 2

M24GPWR+#

```

図 4-16 IGMP Snooping Querier 設定 の参照
 (show ip igmp snooping querier)

4. 10. PoE (給電機能) の設定 (Switch-M24sG を除く)

【グローバルコンフィグレーションモード】と【インターフェースコンフィグレーションモード】にて PoE の設定を行います。

SNMP トラップ送信用 PoE 給電電力しきい値設定コマンド

グローバルコンフィグレーションモード	peth usage-threshold <percent>
--------------------	--------------------------------

オーバーロード時給電方法設定コマンド

グローバルコンフィグレーションモード	peth disconnection-method { next-port low-priority }
--------------------	--

ファン回転速度設定コマンド

グローバルコンフィグレーションモード	fanspeed { low high }
--------------------	-------------------------

PoE ポート有効設定コマンド

インターフェースコンフィグレーションモード	no peth shutdown
-----------------------	------------------

PoE ポート無効設定コマンド

インターフェースコンフィグレーションモード	peth shutdown
-----------------------	---------------

給電電力上限設定コマンド

インターフェースコンフィグレーションモード	peth limit { auto <3000-30000> }
-----------------------	------------------------------------

給電優先度設定コマンド

インターフェースコンフィグレーションモード	peth priority { critical high low }
-----------------------	---

PoE ポート設定参照コマンド

特権モード	show peth-port
-------	----------------

PoE 設定参照コマンド

特権モード	show peth-conf
-------	----------------

```

M24GPWR+> enable
M24GPWR+# show peth-conf
Fan Speed : High
Power Budget : 370W
Power Consumption : 0W
Power Usage Threshold For Sending Trap: 50 %
Power Management Method : Deny next port connection, regardless of priority

M24GPWR+# show peth-port
No. Admin Status Layer Class Prio. Limit(mW) Pow. (mW) Vol. (V) Cur. (mA)
-----
 1 Up Not Powered - - Low Auto 0 0 0
 2 Up Not Powered - - Low Auto 0 0 0
 3 Up Not Powered - - Low Auto 0 0 0
 4 Up Not Powered - - Low Auto 0 0 0
~~~~~
21 Up Not Powered - - Low Auto 0 0 0
22 Up Not Powered - - Low Auto 0 0 0
23 Up Not Powered - - Low Auto 0 0 0
24 Up Not Powered - - Low Auto 0 0 0
M24GPWR+#
    
```

図 4-17 PoE/PoE ポート設定情報参照
(show peth-conf)
(show peth-port)

4.11. ストームコントロールの設定

【グローバルコンフィグレーションモード】にてストームコントロールの設定を行います。基本情報の参照は、【特権モード】にて【show storm-control】で参照してください。

ストームコントロール（ブロードキャスト）有効設定コマンド

インターフェースコンフィグレーションモード	storm-control broadcast
-----------------------	-------------------------

ストームコントロール（ブロードキャスト）無効設定コマンド

インターフェースコンフィグレーションモード	no storm-control broadcast
-----------------------	----------------------------

ストームコントロール（マルチキャスト）有効設定コマンド

インターフェースコンフィグレーションモード	storm-control multicast
-----------------------	-------------------------

ストームコントロール（マルチキャスト）無効設定コマンド

インターフェースコンフィグレーションモード	no storm-control multicast
-----------------------	----------------------------

ストームコントロール（ユニキャスト）有効設定コマンド

インターフェースコンフィグレーションモード	storm-control unicast
-----------------------	-----------------------

ストームコントロール（ユニキャスト）無効設定コマンド

インターフェースコンフィグレーションモード	no storm-control unicast
-----------------------	--------------------------

しきい値設定コマンド

インターフェースコンフィグレーションモード	storm-control threshold <0-262143>
-----------------------	------------------------------------

ストームコントロール設定参照コマンド

特権モード	show storm-control
-------	--------------------

```

M24GPWR+> enable
M24GPWR+# show storm-control

Port Storm Control Setting:
No.      DLF      Broadcast  Multicast  Threshold
-----
 1      Disabled  Disabled   Disabled   0
 2      Disabled  Disabled   Disabled   0
 3      Disabled  Disabled   Disabled   0
 4      Disabled  Disabled   Disabled   0
 5      Disabled  Disabled   Disabled   0
~~~~~
20      Disabled  Disabled   Disabled   0
21      Disabled  Disabled   Disabled   0
22      Disabled  Disabled   Disabled   0
23      Disabled  Disabled   Disabled   0
24      Disabled  Disabled   Disabled   0

M24GPWR+#
    
```

図 4-18 ストームコントロール設定参照
(show storm-control)

4.12. リングプロトコルの設定 (Switch-M24sG を除く)

【リングコンフィグレーションモード】にてリングプロトコルの設定を行います。基本情報の参照は、【特権モード】にて【show rrp status[Domain Name]】で参照してください。

リングプロトコル有効設定コマンド

グローバルコンフィグレーションモード	enable rrp status
--------------------	-------------------

リングプロトコル無効設定コマンド

グローバルコンフィグレーションモード	no enable rrp status
--------------------	----------------------

RRP ドメイン作成設定コマンド

グローバルコンフィグレーションモード	rrp domain <Domain Name>
--------------------	--------------------------

RRP ドメイン削除コマンド

グローバルコンフィグレーションモード	no rrp domain <Domain Name>
--------------------	-----------------------------

役割設定コマンド

リングコンフィグレーションモード	rrp type { master transit }
------------------	-------------------------------

制御 VLAN 設定コマンド

リングコンフィグレーションモード	control vlan<vlan-id>
------------------	-----------------------

データ VLAN 設定コマンド

リングコンフィグレーションモード	data vlan<vlan-id>
------------------	--------------------

プライマリポート設定コマンド

リングコンフィグレーションモード	primary port <port number>
------------------	----------------------------

セカンダリポート設定コマンド

リングコンフィグレーションモード	secondary port <port number>
------------------	------------------------------

fail-period 設定コマンド

リングコンフィグレーションモード	fail-period <seconds>
------------------	-----------------------

polling-interval 設定コマンド

リングコンフィグレーションモード	polling-interval <seconds>
------------------	----------------------------

リングプロトコル設定参照コマンド

特権モード	show rrp status [Domain Name]
-------	-------------------------------

```
M24GPWR+> enable
M24GPWR+# configure
M24GPWR+(config)# interface vlan10
M24GPWR+(config-if)# member 1-12
M24GPWR+(config-if)# exit
M24GPWR+(config)# rrp domain RING-1
M24GPWR+(config-rrp)# rrp type master
M24GPWR+(config-rrp)# primary port 23
M24GPWR+(config-rrp)# secondary port 24
M24GPWR+(config-rrp)# control vlan100
M24GPWR+(config-rrp)# data vlan10
M24GPWR+(config-rrp)# exit
M24GPWR+(config)# enable rrp status
M24GPWR+(config)# end
M24GPWR+# show rrp status RING-1

RRP Domain Name      : RING-1
RRP Node Type        : Master
RRP Ring Status      : Failed

Primary Port         : 23
Primary Port Status  : Down
Primary Port Role    : Upstream

Secondary Port       : 24
Secondary Port Status: Down
Secondary Port Role  : Downstream

Polling Interval     : 1
Fail Period          : 2

Control VLAN         : 100
Data VLAN            : 10

M24GPWR+#
```

図 4-19 リングプロトコル設定・参照コマンド
(show rrp status)

4.13. ポートグループpingの設定(Switch-M24sGを除く)

【グローバルコンフィグレーションモード】にてポートグループpingの設定をします。ポートグループpingを設定すると、ポートグループのメンバーに指定されたポートは同一グループのメンバーポートとのみ通信が可能となります。各ポートは複数のポートグループに割り当てることが可能です。

設定情報の参照は【特権モード】にて【show port-group】で参照してください。

ポートグループ作成コマンド

グローバルコンフィグレーションモード	port-group <1-256> name <Name> member <Portlist>
--------------------	--

ポートグループ削除コマンド

グローバルコンフィグレーションモード	no port-group <1-256>
--------------------	-----------------------

ポートグループ有効コマンド

グローバルコンフィグレーションモード	port-group <1-256> enable
--------------------	---------------------------

ポートグループ無効コマンド

グローバルコンフィグレーションモード	no port-group <1-256> enable
--------------------	------------------------------

ポートグループping設定参照コマンド

リングコンフィグレーションモード	show port-group
------------------	-----------------

```
M24GPWR+> enable
M24GPWR+# configure
M24GPWR+(config)# port-group 1 name Group_1 member 1-3
M24GPWR+(config)# port-group 2 name Group_2 member 2-4
M24GPWR+(config)# no port-group 2 enable
M24GPWR+(config)# end
M24GPWR+#
```

図 4-20 ポートグループpingの設定

(port-group 1 name Group_1 member 1-3)

(port-group 2 name Group_2 member 2-4)

(no port-group 2 enable)

```
M24GPWR+> enable
M24GPWR+# show port-group

Total Groups : 2
Group ID  Group Name      Group Member      Status
-----
1         Group_1                1-3                Enabled
2         Group_2                2-4                Disabled

M24GPWR+#
```

図 4-21 ポートグループping設定の参照

(show port-group)

5. 統計情報の表示

【特権モード】にてこの装置の統計情報の参照を行います。

統計情報(traffic)参照コマンド

特権モード	show interface counters <interface port>
-------	--

統計情報(error)参照コマンド

特権モード	show interface counters errors <interface port>
-------	---

```
M24GPWR+> enable
M24GPWR+# show interface counters gi0/1

Elapsed Time Since System Reset: 000:11:48:59

Total RX Bytes      Total RX Pkts      Good Broadcast      Good Multicast
      604288              9442                0                9442

 64-Byte Pkts      65-127 Pkts      128-255 Pkts
      9447              631                0

256-511 Pkts      512-1023 Pkts      1024-1518 Pkts
      0                0                0

M24GPWR+# show interface counters errors gi0/1

Elapsed Time Since System Reset: 000:11:49:29

CRC/Align Errors      Undersize Pkts      Oversize Pkts
      0                0                0

Fragments      Jabbers      Collisions
      0                0                0
```

図 5-1 統計情報の参照
(show interface counters gi0/1)
(show interface counters errors gi0/1)

6. バージョンアップおよび設定ファイルのダウン/アップロードの実行

【特権モード】にてバージョンアップや設定ファイルのダウンロード/アップロードを行います。

バージョンアップ実行コマンド

特権モード	copy tftp <ip-address> <filename> image
-------	---

```
M24GPWR+> enable
M24GPWR+# copy tftp 192.168.1.100 pn26249.rom image

Downloading Image From Remote Server. (Press CTRL-C to quit downloading)
Receive      81408 bytes
```

図 6-1 バージョンアップ
(copy tftp 192.168.1.100 pn26249.rom image)

設定ファイルアップロードコマンド

特権モード	copy running-config tftp <ip-address> <filename>
-------	--

設定ファイルダウンロードコマンド

特権モード	copy tftp <ip-address> <filename> running-config
-------	--

7. 再起動

【特権モード】にて再起動を行います。

再起動コマンド

特権モード	reboot {normal default default-except-IP}
-------	---

```
M24GPWR+# reboot normal
Are you sure to reboot the system? (Y/N) y

Memory test...OK

Decompressing...OK
System database initialization ... OK

BCM unit 0: SOC registers test ... Passed
BCM unit 0: PHY registers test ... Passed
BCM unit 0: MAC loopback test .... Passed
BCM unit 0: PHY loopback test .... Passed
Fan sensor test ..... Passed
Temperature sensor test ..... Passed
PoE test ..... Passed

Checking Image Bank Integrity ... OK

Booting system
Decompressing...OK

Initializing ....
```

図 7-1 再起動画面
(reboot normal)

8. 例外処理

【グローバルコンフィグレーションモード】にて再起動の種類や再起動の実行を行います。

例外処理 有効コマンド

グローバルコンフィグレーションモード	exception-handler enable
--------------------	--------------------------

例外処理 無効コマンド

グローバルコンフィグレーションモード	no exception-handler enable
--------------------	-----------------------------

例外処理 設定コマンド

グローバルコンフィグレーションモード	exception-handler mode { debug-message system-reboot both }
--------------------	--

例外処理設定 参照コマンド

特権モード	show exception-handler
-------	------------------------

```
M24GPWR+> enable
M24GPWR+# configure
M24GPWR+(config)# exception-handler enable
M24GPWR+(config)# exception-handler mode both
M24GPWR+(config)# end
M24GPWR+# show exception-handler

Exception Handler:          Enabled
Exception Handler Mode:    Debug Message & System Reboot

M24GPWR+#
```

図 8-1 例外処理設定参照

9. Ping の実行

すべてのモードにて Ping による疎通試験を行うことができます。

Ping コマンド

すべてのモード	ping <ip-address>
---------	-------------------

Ping(回数)コマンド

すべてのモード	ping <ip-address> [-n <count>]
---------	--------------------------------

Ping(タイムアウト)コマンド

すべてのモード	ping <ip-address> [-w <timeout(sec)>]
---------	---------------------------------------

```
M24GPWR> ping 192.168.1.100

Type Ctrl-C to abort.

Reply Received From : 192.168.1.100, TimeTaken : 7 ms
Reply Received From : 192.168.1.100, TimeTaken : 67 ms
Reply Received From : 192.168.1.100, TimeTaken : 5 ms

--- 192.168.1.100 Ping Statistics ---
3 Packets Transmitted, 3 Packets Received, 0% Packets Loss

M24GPWR> enable
M24GPWR+# ping 192.168.1.100

Type Ctrl-C to abort.

Reply Received From : 192.168.1.100, TimeTaken : 8 ms
Reply Received From : 192.168.1.100, TimeTaken : 5 ms
Reply Received From : 192.168.1.100, TimeTaken : 5 ms

--- 192.168.1.100 Ping Statistics ---
3 Packets Transmitted, 3 Packets Received, 0% Packets Loss

M24GPWR+# config
```

図 9-1 Ping の実行
(ping 192.168.1.100)

10. システムログの参照

【特権モード】にてシステムログの参照を行います。

システムログ参照コマンド

特権モード	show syslog
-------	-------------

システムログクリア設定コマンド

グローバルコンフィグレーションモード	syslog clear
--------------------	--------------

```
M24GPWR+(config-if)# end
M24GPWR+# show syslog

Entry   Time (YYYY/MM/DD HH:MM:SS)          Event
-----
  1     2001/01/01 00:00:00                Reboot: Factory Default Except IP
  2     2001/01/01 00:01:05                Login from console
  3     2001/01/01 00:01:10                (Bridge) Topology Change
  4     2001/01/01 00:01:35                Login from telnet. (IP : 192.168.1.100)

M24GPWR+#
```

図 10-1 システムログ表示
(show sys-log)

10.1. システムログの設定

【グローバルコンフィグレーションモード】にてイベント毎のシステムログの設定を行います。

リンク状態が変更された際のシステムログの保存有効設定コマンド

グローバルコンフィグレーションモード	log enable linkupdown
--------------------	-----------------------

リンク状態が変更された際のシステムログの保存無効設定コマンド

グローバルコンフィグレーションモード	nolog enable linkupdown
--------------------	-------------------------

PoE の給電状態が変更された際のシステムログの保存有効設定コマンド

グローバルコンフィグレーションモード	log enable poe-onoff
--------------------	----------------------

PoE の給電状態が変更された際のシステムログの保存無効設定コマンド

グローバルコンフィグレーションモード	nolog enable poe-onoff
--------------------	------------------------

システムログ設定参照コマンド

特権モード	show log configuration
-------	------------------------

```
M24GPWR+> enable
M24GPWR+# show log configuration

Individual Log

Link UP/DOWN      : Enabled
PoE ON/OFF       : Enabled

M24GPWR+#
```

図 10-2 システムログの設定参照コマンド
(show log configuration)

11. 設定情報の保存

【特権モード】にて設定情報の保存を行います。

設定保存コマンド

特権モード	copy running-config startup-config
-------	------------------------------------

```
M24GPWR> enable
M24GPWR+# copy running-config startup-config
Please wait a minute.

Save current state to startup config successfully!!

M24GPWR+#
```

図 11-1 設定情報の保存

12. 設定情報の参照

【特権モード】にて設定情報の参照を行います。

設定情報参照コマンド

特権モード	show running-config
-------	---------------------

保存済み設定情報参照コマンド

特権モード	show startup-config
-------	---------------------

```
Building Configuration...
Current Configuration:
! -- start of config file --
! -- Software Version : x.x.x.xx --
!
enable
config
!
crypto key generate rsa
!
ip address 192.168.1.1 255.255.255.0
ip default-gateway 192.168.1.254
!
spanning-tree mst enable
spanning-tree mst version mstp
spanning-tree mst name MST1
spanning-tree mst 1 vlan 10
spanning-tree mst 1 priority 0x8000
!
interface GigabitEthernet0/1
jumbo
!
interface GigabitEthernet0/2
More . . . . .To stop press (n)
```

図 12-1 設定情報の参照
(show running-config)

付録A. 仕様

お使いの機種仕様を確認するには、それぞれの機種に対応した『取扱説明書（メニュー編）』をご参照ください。

付録B. Windowsハイパーターミナルによる コンソールポート設定手順

WindowsがインストールされたPCとこの装置をコンソールケーブルで接続し、以下の手順でハイパーターミナルを起動します。

(Windows Vista以降では別途ターミナルエミュレータのインストールが必要です。)

- ① Windowsのタスクバーの[スタート]ボタンをクリックし、[プログラム(P)]→[アクセサリ]→[通信]→[ハイパーターミナル]を選択します。
- ② 「接続の設定」ウィンドウが現われますので、任意の名前（例えば Switch）を入力、アイコンを選択し、[OK]ボタンをクリックします。
- ③ 「電話番号」ウィンドウが現われますので、「接続方法」の欄のプルダウンメニューをクリックし、“Com1” を選択後[OK]ボタンをクリックします。
ただし、ここではコンソールケーブルが Com1 に接続されているものとします。
- ④ 「COM1 のプロパティ」というウィンドウ内の「ビット/秒(B)」の欄でプルダウンメニューをクリックし、“9600” を選択します。
- ⑤ 「フロー制御(F)」の欄のプルダウンメニューをクリックし、“なし” を選択後[OK]ボタンをクリックします。
- ⑥ ハイパーターミナルのメインメニューの[ファイル(F)]をクリックし、[プロパティ(R)]を選択します。
- ⑦ 「<name>のプロパティ」（<name>は②で入力した名前）というウィンドウが現われます。そこで、ウィンドウ内上部にある“設定”をクリックして画面を切り替え、“エミュレーション(E)”の欄でプルダウンメニューをクリックするとリストが表示されますので、“VT100”を選択し、[OK]ボタンをクリックします。
- ⑧ 取扱説明書の4項に従ってこの装置の設定を行います。
- ⑨ 設定が終了したらハイパーターミナルのメインメニューの[ファイル(F)]をクリックし、[ハイパーターミナルの終了(X)]をクリックします。ターミナルを切断してもいいかどうかを聞いてきますので、[はい(Y)]ボタンをクリックします。そして、ハイパーターミナルの設定を保存するかどうかを聞いてきますので、[はい(Y)]ボタンをクリックします。
- ⑩ ハイパーターミナルのウィンドウに“<name>.ht”（<name>は②で入力した名前）というファイルが作成されます。

次回からは“<name>.ht”をダブルクリックしてハイパーターミナルを起動し、⑧の操作を行えばこの装置の設定が可能となります。

付録C. IPアドレス簡単設定機能について

IPアドレス簡単設定機能を使用する際の注意点について説明します。

【動作確認済ソフトウェア】

パナソニック株式会社製『IP簡単設定ソフトウェア』V3.01 / V4.00 / V4.24R00

パナソニックシステムネットワークス株式会社製『かんたん設定』Ver3.10R00

パナソニックLSネットワークス株式会社製『Z EQUO assist Plus』Ver1.2.7.1

【設定可能項目】

- IPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ
- システム名
 - ※パナソニックシステムネットワークス株式会社製ソフトウェアでのみ設定可能です。
ソフトウェア上では“カメラ名”と表示されます。
- 本機能を利用して機器の設定を行った場合、Web Server Statusが自動的に有効(Enabled)になります。

【制限事項】

- セキュリティ確保のため、電源投入時より20分間のみ設定変更が可能です。
ただし、IPアドレス/サブネットマスク/デフォルトゲートウェイ/ユーザ名/パスワードの設定が工場出荷時状態の場合、時間の制限に関係なく設定が可能です。
※制限時間を過ぎても一覧には表示されますので、現在の設定を確認することができます。
- パナソニックシステムネットワークス株式会社製ソフトウェアの以下の機能は対応しておりませんので、使用することはできません。
 - “自動設定機能”

※ネットワークカメラの商品情報は各メーカー様へご確認ください。

付録D. トラップ一覧

お使いの機種 of トラップ一覧を確認するには、それぞれの機種に対応した『取扱説明書（メニュー編）』をご参照ください。

故障かな?と思ったら

故障かなと思った場合には、まず下記の項目に従って確認してください。

◆LED表示関連

■PWR(電源)LEDが点灯しない場合

- 電源コードが外れていませんか?確実に接続されているか確認してください。

■ステータスモードでポートLEDが点灯しない場合

- ケーブルを該当するポートに正しく接続していますか?
- 該当するポートに接続している端末は10BASE-T、100BASE-TX、もしくは1000BASE-Tですか?
- オートネゴシエーションで失敗している場合があります。
→この装置のポート設定もしくは端末の設定を再確認してみてください。

◆通信が遅い場合

●装置の通信速度、通信モードが正しく設定されていますか?

通信モードを示す適切な信号が得られない場合は、半二重モードで動作します。

オート・ネゴシエーションの設定を再確認してください。

接続相手機器を強制全二重に設定しないでください。

●この装置を接続しているネットワークの帯域使用率が高すぎませんか?

ネットワークからこの装置を分離してみてください。

◆通信ができない場合

●リンクアップしていますか?

→Power Saving Mode(MNO シリーズ省電力モード)やEEE(IEEE802.3az,省電力型イーサネット機能)が有効の場合、接続機器によってはリンクしない場合があります。以下の通り、設定を変更してください。

1. Power Saving Mode の設定を「Half」または「Disabled」に変更
2. EEE(IEEE802.3az)の設定を「Disabled」に変更

◆PoE給電ができない場合 (PoE非対応機種を除く)

■PoE(給電)LEDが点灯しない場合

- STPケーブルを使用していると、設置環境によってはPoE給電出来ない場合があります。その場合は、UTPケーブルをご使用ください。

●ケーブルは適切なものを使用し、PoE給電をサポートするポートに接続していますか?

- 該当するポートに接続しているPoE対応機器は、IEEE802.3atまたはIEEE802.3af規格に対応していますか?

●ポート単体もしくは装置全体でオーバーロードしていませんか?

■15.4Wを超える給電が行えない場合

- ISO/IEC 11801 Class D以上またはANSI/TIA/EIA-568B.2 CAT5e以上のケーブルリングをされていますか?

- 供給電力の上限を15600~30000mWの範囲で手動(Manual)設定していますか?
(LLDPをサポートしていないPoE受電機器へ給電する場合)

■急に給電が止まった場合

- 通常使用時と待機時で消費電力が異なるPoE受電機器を使用している場合、オーバーロードしている可能性があります。ポート単体もしくは装置全体の給電電力をご確認ください。

アフターサービスについて

1. 保証書について

保証書はこの装置に付属の取扱説明書（紙面）についています。必ず保証書の『お買い上げ日、販売店（会社名）』などの記入をお確かめの上、販売店から受け取っていただき、内容を良くお読みのうえ大切に保管してください。保証期間はお買い上げの日より1年間です。

2. 修理を依頼される時

『故障かな？と思われたら』に従って確認をしていただき、なお異常がある場合は次ページの『便利メモ』をご活用の上、下記の内容とともにお買い上げの販売店へご依頼ください。

- ◆品名 ◆品番
- ◆製品シリアル番号（製品に貼付されている11桁の英数字）
- ◆ファームウェアバージョン（個装箱に貼付されている” Ver.” 以下の番号）
- ◆異常の状況（できるだけ具体的にお伝えください）
- 保証期間中は：
保証書の規定に従い修理をさせていただきます。
お買い上げの販売店まで製品に保証書を添えてご持参ください。
- 保証期間が過ぎているときは：
診断して修理できる場合は、ご要望により有料で修理させていただきます。
お買い上げの販売店にご相談ください。

3. アフターサービス・商品に関するお問い合わせ

お買い上げの販売店もしくは下記の連絡先にお問い合わせください。

パナソニックLSネットワークス株式会社
TEL 03-6402-5301 / FAX 03-6402-5304

4. ご購入後の技術的なお問い合わせ

■ご購入後の技術的な問い合わせはフリーダイヤルをご利用ください。

IP電話(050番号)からはご利用いただけません。お近くの弊社営業部にお問い合わせください。

フリーダイヤル



0120-312-712 受付 9:30～12:00 / 13:00～17:00
(土・日・祝日、および弊社休日を除く)

弊社ホームページによくあるご質問(FAQ)および設定例を掲載しておりますのでご活用ください。

ご不明点が解決できない場合は、ホームページのサポート内容をご確認の上、お問合せください。

URL:<http://panasonic.co.jp/ls/plsnw/support/index.html>

なお、ご購入前のお問い合わせは、弊社各営業部にお願いいたします。

URL:<http://panasonic.co.jp/ls/plsnw/resume/guideline/index.html>

便利メモ（おぼえのため、記入されると便利です）

お買い上げ日	年	月	日	品名	Switch-M					
				品番	PN26					
ファームウェア バージョン（※）	Boot Code									
	Runtime Code									
シリアル番号										
	（製品に貼付されている 11 桁の英数字）									
販売店 または 販売会社名	電話（ ） —									
お客様 ご相談窓口	電話（ ） —									

（※ 確認画面はメニュー編 4.5 項を参照）

© Panasonic Life Solutions Networks Co., Ltd. 2014-2021

パナソニックLSネットワークス株式会社

〒105-0021 東京都港区東新橋 2 丁目 12 番 7 号 住友東新橋ビル 2 号館 4 階

TEL 03-6402-5301 / FAX 03-6402-5304

URL: <http://panasonic.co.jp/ls/plsnw/>

P0112-8101